

年 報

第 38 号

令和六年度
(2024 年度)

大阪がん循環器病予防センター

年

報

第三十八号

令和六年度（二〇二四年度）

大阪がん循環器病予防センター

は じ め に

今年も昨年と同様に穏やかな温かい年明けとなりました。

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に感染症法の5類に移行して以降、新たな変異株の出現もなく落ち着きを取り戻しています。変わって、インフルエンザが例年より1か月早く、新たなA型変異株（サブクレードK）とともに出現しました。さらにインフルの10倍も感染力を持つ麻疹の流行もみられています。感染症については油断が禁物であり、引き続き注意を払うことが肝要です。

今年度は第3期中期経営計画の最終期で計画目標を達成できるかの試金石になります。最近、受診者数は順調に回復してきており、おおむね目標の収支状況は達成できる見通しです。

さて、2024年3月に健康日本21（第3次）が発表され、それを受けて大阪府におきましても第4次健康増進計画が出されています。その内容は今まで以上に予防に軸足をシフトさせた形となっています。当センターにおきましても、そうした流れに対応すべく、がんサバイバードック等、新たな取り組みを行っていかうと考えています。一度がんになった方々は新たながん（二次がん）になりやすいと言われています。

また、当センターのホームページ上で生活習慣病である、がんならびに循環器疾患などについて、それぞれの専門家による解説や予防の大切さをオンライン市民公開セミナーとして、さらなる充実を図り一般公開しています。この試みに対しては、相当の反響が見られ、今後も項目を増やして継続していく所存です。

精度管理につきましては、大阪府の委託を受け府内各市町村検診の実態把握に努めるとともにと検診率を上げるための相談に乗るとともに、精検受診率の向上を目指して助言指導を行っています。さらに、今年からは新たに地域連携室を立ち上げ、地域の医療施設との連携をスムーズに行うようにしたいと思っています。

ここに令和6年度の実績を詳しくまとめ掲載しましたので参考にいただければ幸いです。

令和8年3月

公益財団法人 大阪府保健医療財団

理事長 伊 藤 壽 記

目 次

総 括 編

I 概 要	1
1 大阪がん循環器病予防センターの沿革	3
2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ	4
(1) 設 立 趣 旨	4
(2) 沿 革	5
3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ	6
(1) 設 立 趣 旨	6
(2) 沿 革	6
II 管 理	7
1 組 織	9
2 理事会・評議員会等の開催状況	10
3 評議員・役員名簿	11
4 幹部職員・職員数	12
5 主要事業開始日	13
6 施設認定および職員の認定資格	14
7 施 設 概 要	15
8 主 要 備 品 一 覧 表	18
9 会 計	22
III 検診・健診事業	25
1 が ん 検 診 事 業	27
(1) 胃 が ん 検 診	29
(2) 子 宮 が ん 検 診	31
(3) 乳 が ん 検 診	33
(4) 肺 が ん 検 診	35
(5) 大 腸 が ん 検 診	36
2 総 合 健 診	37
3 検 査	38
4 医 療 機 関 と の 連 携	40
5 大阪府委託事業と研修	41
IV 広 報 活 動	45
1 概 要	46
2 がん予防キャンペーン大阪2024	46
3 マスメディア	46
4 オンライン市民公開セミナー	46
5 講 師 派 遣	49
6 そ の 他	52

V 受診者満足度調査	53
1 概 要	54
2 アンケート結果についての対応	55
VI 研究及び研究支援	57
1 概 要	58
2 国などの研究班への参加	58
3 各種役員・委員	59
4 学会及び学術集会主催	60
5 学会発表及び学術講演	60
6 研究論文・著書	63
7 受賞及び表彰	64
8 大阪がん予防対策基金	65

資 料 編

VII がん検診結果集計資料	73
1 胃 が ん 検 診	
(1) 胃がん検診実績表（施設検診・車検診号車別）	74
(2) 胃がん検診結果集計表	75
(3)～(6) 胃がん検診結果集計表（性・年齢階級別）	76
(7) 胃がん精検機関別精検受診数	80
(8) 市町村別胃がん検診精密検査機関	81
2 子 宮 が ん 検 診	
(1) 子宮がん検診結果集計表	82
(2) 子宮がん検診結果集計表（年齢階級別）	83
(3) 子宮がん精検機関別精検受診数	84
(4) 市町村別子宮がん検診精密検査機関	85
3 乳 が ん 検 診	
(1) 乳がん検診結果集計表	86
(2) 乳がん検診結果集計表（年齢階級別）	87
(3) 乳がん精検機関別精検受診数	88
(4) 市町村別乳がん検診精密検査機関	89
4 肺 が ん 検 診	
(1) 肺がん検診結果集計表	90
(2) 肺がん検診（C T）結果集計表（性・年齢階級別）	91
(3) 肺がん検診（X線）結果集計表（性・年齢階級別）	92
5 大 腸 が ん 検 診	
(1) 大腸がん検診結果集計表	93
(2)～(5) 大腸がん検診結果集計表（性・年齢階級別）	94
(6) 大腸がん精検機関別精検受診数	98
(7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関	99

總 括 編

I 概 要

1 大阪がん循環器病予防センターの沿革

大阪がん循環器病予防センターは、大阪がん予防検診センターと大阪府立健康科学センターとの統合により平成24年4月1日に発足致しました。

これら2施設の設立の経緯を辿りますと、両者共に大阪府立成人病センターの設立当初からの事業に関わっています。

大阪府立成人病センターは、大阪府の成人病予防行政の一環として、昭和34年9月に、高血圧、心臓疾患、がんなどのいわゆる成人病の予防、早期発見およびこれらの調査、研究等を行い、府内における成人病に関する医療水準の向上を図るための中核施設として設置されました。(大阪府立成人病センター設立の趣旨より抜粋) この目的のために、成人病センターでは設立当初より循環器集団検診事業を、昭和36年より胃集団検診事業を開始しました。

その後、昭和62年に(財)大阪がん予防検診センターが設立され、胃検診部門の検診車集検、施設集検業務が移管されました。

また、平成13年には大阪府立健康科学センター((財)大阪府保健医療財団)が設立され、循環器集団検診事業が移管されました。

平成24年に両センターが統合され、昭和30年代から続けられてきた、大阪府におけるがん予防事業と循環器病予防事業を、再びひとつの施設で行うこととなりました。

令和5年4月より、循環器病予防部事業が地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に移管されることから、令和5年3月31日付けで循環器病予防部門を廃止しました。

以下に統合までの両施設の沿革を掲載します。

2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ

(1) 設立趣旨

がんによる死亡は、年々増加しており、我が国では昭和56年以降死因順位のトップを占めつづけております。この傾向は人口構造の高齢化に伴い今後ますます増加するものと予想され、がん制圧は我が国のみならず人類共通の課題となっております。

大阪府でも昭和46年以降死因のトップを占め、現在、がんで亡くなる人は年間1万2千名を越え、その数は今なお年々増加しております。また、がんは主として中高年齢層をおそい、その及ぼす影響は、本人や家庭ばかりでなく社会にとっても大きな問題であります。このようなことから、がんに対する住民の不安は大きなものがあり、また、がん対策に強い期待がかけられております。

一方、近年の医療の長足の進歩によって、がんについても早期に発見し適切な治療を受ければ、その殆どは治るようになっております。国においても、老人保健事業としてがん検診の一層積極的な推進を図るほか、対がん10か年総合戦略を策定し、がんの本態解明を目指すなど、がん対策には特に力を入れつつあります。

このような状況に応じ、がん対策をより効果的に推進するためには、地域医療機関、高度医療機関、行政等が機能・特色を生かして一層の連携を図り、がんの早期発見を促し、早期治療に結びつけるとともに、がん対策に関し府内全体の水準の向上を図る必要があります。また、がん予防についての府内全域にわたるきめ細かい対応が必要であります。

このようなことから、社団法人大阪府医師会、大阪府が中心となり、府内におけるがん予防活動の推進体として、財団法人大阪がん予防検診センターの設立を検討してきましたが、さらに大阪市も参画・出捐して法人の発足を図り、がん予防に関する知識の啓発普及、各種のがん検診、細胞検査、専門技術者に対する各種の研修、調査研究、その他がん予防に関する必要な事業を行い、今後の高齢化社会に向けてますます重要となる府民の健康の保持増進と地域保健の向上に寄与しようとするものであります。

(「設立趣意書」より)

(2) 沿 革

昭和61年10月	財団法人大阪がん予防検診センター設立認可	平成元年9月	「がん予防キャンペーン大阪'89」コンピュータによる危険度判定と保健指導、街頭・店頭キャンペーン、がん予防テレホンサービスキャプテンシステムによるがん予防情報サービス
昭和62年4月	胃がん検診：車検診開始（間接X線撮影装置10台） 肺がん（所外）検診：4市3町の住民対象に実施	平成5年2月	「創立5周年記念講演会」開催
4月	大阪がん予防検診センター（建物）を引継ぐ	10月	第47回保健文化賞受賞
5月	細胞診検査、組織診検査業務開始 大阪がん予防検診センター（附属診療所）開所式典 子宮がん検診：車検診開始（細胞診検査1台） 三笠宮寛仁親王殿下御夫妻御視察 胃がん検診：施設での集団検診開始（間接X線撮影装置2台）	平成9年4月	総合健診：施設において大阪市住民を対象に開始
6月	子宮がん検診：施設での一次、二次検診開始	6月	総合健診：車検診 職域を対象に開始（1台）
10月	検診結果のコンピュータ処理開始 胃がん検診：施設での精密検査開始（胃X線直接撮影装置「FCR 対応」1台、内視鏡） 乳がん検診：施設での一次検診（視・触診）二次検診開始（乳房X線撮影装置「FCR 対応」1台、超音波診断装置1台）	11月	施設において禁煙クリニックを開始
11月	「がん予防キャンペーン大阪'87」 街頭・店頭キャンペーン、世界のがん予防ポスター展 「喫煙と健康教育大阪セミナー」開催	平成13年4月	乳がん車検診：超音波検診車をマンモグラフィ検診車に変換、検診開始
昭和63年2月	第1回禁煙コンテスト開催	平成14年6月	肺がん検診：精密検査でヘリカルCT 検査を開始
3月	昭和62年度大阪がん予防対策基金事業研究助成決定（3件）	平成15年3月	がん予防クリニック開設
4月	大腸がん検診：一次検診開始（便潜血検査）	平成17年4月	肺がん検診：車CT 検診開始（ヘリカルCT 撮影装置1台、喀痰細胞診検査）
5月	肺がん検診：施設での一次検診開始（胸部X線撮影装置「FCR 対応」1台、喀痰細胞診検査）	平成18年4月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診車に変換（2台）、検診開始 乳がん車検診：デジタルマンモグラフィ検診車検診開始（1台）
6月	肺がん検診：施設での精密検査開始（断層X線撮影装置「FCR 対応」1台、喀痰細胞診検査）	6月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診車に変換（1台）、検診開始
7月	乳がん検診：車検診開始（超音波診断装置1台）	平成19年3月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診車に変換（1台）、検診開始
9月	がん危険度セルフチェックキャンペーン、街頭・店頭キャンペーン、世界のがん予防ポスター展	平成20年3月	施設検診システム稼働 胃がん車検診：デジタル胃X線検診車に変換（1台）、検診開始
平成元年3月	昭和63年度大阪がん予防対策基金事業研究助成決定（10件）	平成22年3月	肺がん車検診：デジタル化に変換検診開始
		4月	（財）大阪府保健医療財団と法人統合
		9月	乳がん車検診：乳がん検診強化の為にデジタルマンモグラフィ検診車購入（1台）
		平成24年4月	大阪がん予防検診センターと大阪府立健康科学センターとの事業統合 大阪がん予防検診センターから大阪がん循環器病予防センターに名称変更
		平成25年3月	公益財団法人への移行認定
		4月	公益財団法人への移行登記
		平成29年2月	日本人間ドック学会の定める人間ドック健診施設機能評価に認定
		令和2年10月	デジタルマンモグラフィ検診車更新（1台）
		令和5年3月	循環器病予防部門廃止
		令和6年2月	肺がん検診車更新（1台）
		令和6年4月	胃がん検診車更新（1台）

3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ

(1) 設立趣旨

大阪府では、従来から他府県に比較して平均寿命が短く、中高年の死亡率が高いこと、特に循環器病やがんによる死亡率が高いことが行政課題となっています。これらの課題の解決のために、府民の健康度の変化を早期に把握し、生活習慣を改善するとともに環境の改善や必要な医療へ繋げていくことが必要となっています。そのためには、科学的根拠に基づく効果的な健康づくり技法の開発、健康情報の普及啓発、指導者育成、実践活動を行う拠点施設が必要であることが強く認識され、健康科学センターの設置へと繋がりました。

(2) 沿革

昭和34年に、脳卒中、心疾患、がん等の成人病の研究および対策を確立するため、大阪府では全国に先駆けて、大阪府立成人病センターをオープンし、死因の第一位で国民病と言われた脳卒中の予防を図るため、調査部集検一科を設置しました。当時、脳卒中の原因はおろか死亡や発生の実態すら十分に把握されていない状況でしたが、旧健康科学センター顧問の小町喜男氏が先駆的に循環器病の予防のための疫学研究と実践活動を開始され、さらに集団検診第一部へと発展した組織で活動を展開され、日本の循環器病予防の疫学研究と対策の進展に先導的な役割を果たされてきました。

平成4年には、「大阪府衛生対策審議会」が成人病予防から治療に至る一貫した体制を整備するため、生活習慣に関する専門施設（大阪府立成人病センター、大阪がん予防検診センター、大阪府立公衆衛生研究所）が集中する森ノ宮地区に府民の健康づくりの拠点施設を整備し、これまで以上に積極的な健康づくり施策を推進していくとした「森ノ宮健康ゾーン構想」を打ち出しました。

平成7年には「大阪府森ノ宮健康ゾーン推進計画書」が自治省「リーディングプロジェクト」先導的な地域づくり対策に対する支援、地域総合整備事業債の適用

を受けることとなり、健康づくりの拠点施設の設置の実現性が高まりました。

平成8年には、大阪府が「成人病克服おおさか10か年プラン」を策定し、府民の自主的な健康づくり活動の支援を行うため、その拠点施設として、大阪府立成人病センター集団検診第一部等を基盤に、大阪府立健康科学センターを設置することとしています。

平成13年には、2月議会で設置条例が可決され、3月に本体建物が竣工し、4月には（財）大阪府保健医療財団へ管理運営を委託して、7月に大阪府立健康科学センターとしての事業を開始しました。

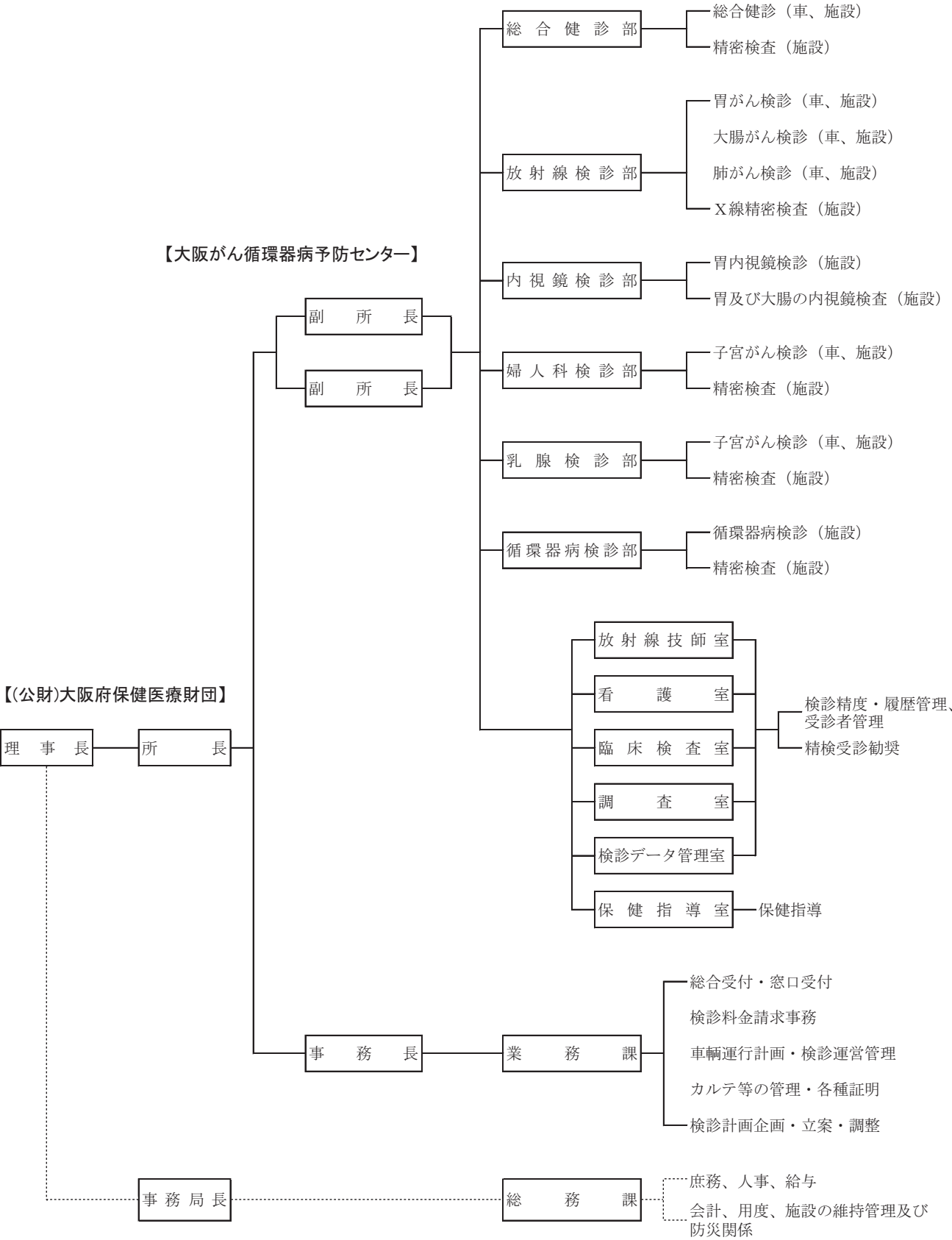
平成20年には、大阪府の財政非常事態宣言で財政再建プログラム素案が出され、大阪府立健康科学センターの廃止が提示されましたが、府民はもとより全国から存続嘆願の署名22,320人が集まり、知事に提出され、廃止案は後退しました。しかし、同プログラム案で、運動フロアでのフィットネス、展示施設の廃止、健診事業の内容精査、（財）大阪がん予防検診センターと統合の方針が出され、さらに府派遣職員の全員引揚げ方針が出された結果、組織・財源の大幅な見直しが行われました。

平成23年9月議会で、平成23年度末で大阪府立健康科学センターの公の施設としては廃止する条例が可決され、平成24年度から、大阪府立健康科学センターと大阪がん予防検診センターの統合による新センターが設置されることとなりました。

令和5年4月より、循環器病予防部門の事業が地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に移管されることから、令和5年3月31日付けで循環器病予防部門を廃止しました。

Ⅱ 管 理

1 組 織（令和7年3月31日）



2 理事会・評議員会等の開催状況

【第315回理事会】 令和6年6月10日

・議 案

第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算の件

第2号議案 定時評議員会の開催の件

・報告事項 令和5年度における職務執行状況について

【第316回理事会】 令和6年9月2日

・議 案

第1号議案 評議員の辞任に伴う補欠の評議員候補者の推薦の件
(書面による同意)

【第317回理事会】 令和7年1月17日

・議 案

第1号議案 評議員の辞任に伴う補欠の評議員候補者の推薦の件
(書面による同意)

【第318回理事会】 令和7年3月19日

・議 案

第1号議案 令和6年度収支予算補正の件
第2号議案 令和7年度事業計画の件
第3号議案 令和7年度収支予算の件
第4号議案 臨時評議員会の招集の件

・報告事項 令和6年度における職務執行状況について

【評議員選定委員会】 令和6年10月1日

・議 案

第1号議案 評議員の辞任に伴う補欠の評議員の選任の件

【評議員選定委員会】 令和7年1月27日

・議 案

第1号議案 評議員の欠員に伴う補欠の評議員の選任の件

【令和6年度定時評議員会】 令和6年6月27日

・議 案

第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算の件

第2号議案 理事の辞任に伴う補欠の理事の選任の件
(書面による同意)

・報告事項 第315回理事会の概要について

【令和6年度臨時評議員会】 令和7年3月24日

・議 案

第1号議案 令和6年度収支予算補正の件
第2号議案 令和7年度事業計画の件
第3号議案 令和7年度収支予算の件
第4号議案 評議員選定委員会委員の選任の件

・報告事項 (1)第318回理事会の概要について
(2)令和6年度の経営目標達成状況等について

3 評議員・役員名簿

〔評議員名簿〕

(令和7年3月31日現在)

名 称	氏 名	摘 要
評 議 員	乾 英 夫	一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長
評 議 員	川 崎 良	大阪大学大学院医学系研究科教授
評 議 員	加 納 康 至	一般社団法人 大阪府医師会 会長
評 議 員	北 川 一 夫	一般社団法人 大阪府病院協会 副会長
評 議 員	新 谷 憲 一	大阪市健康局長
評 議 員	西 野 誠	大阪府健康医療部長
評 議 員	深 田 拓 司	一般社団法人 大阪府歯科医師会 会長
評 議 員	松 浦 成 昭	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 総長

〔役員名簿〕

(令和7年3月31日現在)

名 称	氏 名	所 属
理 事 長	伊 藤 壽 記	公益財団法人 大阪府保健医療財団
理 事	伊 藤 憲 一 郎	一般社団法人 大阪府薬剤師会 副会長
理 事	北 村 良 夫	一般社団法人 大阪府医師会 理事
理 事	津 田 高 司	一般社団法人 大阪府歯科医師会 副会長
理 事	寺 澤 昭 二	大阪市健康局健康推進部長
理 事	中 尾 和 民	一般社団法人 大阪府病院協会 理事
理 事	永 井 仁 美	大阪府医療監
理 事	長 井 詳 昭	公益財団法人 大阪対がん協会 専務理事
監 事	蒲 生 武 志	公認会計士
監 事	南 部 英 幸	元大阪府会計管理者

4 幹部職員・職員数

〔幹部職員〕

(令和7年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
所 長	伊 藤 壽 記
副所長兼放射線検診部長兼 検 診 デ ー タ 管 理 室 長	今 村 文 生
副所長兼総合健診部長兼 循環器病検診部長兼保健指導室長	向 井 幹 夫
乳 線 検 診 部 長	濱 田 未 佳
婦 人 科 検 診 部 長	上 浦 祥 司 中 村 隆 文
内 視 鏡 検 診 部 長	伊 藤 壽 記
放 射 線 技 師 室 長	三 浦 一 利
看 護 長	岡 由 紀 子
臨 床 検 査 室 長	濱 田 未 佳
調 査 室 長	池 宮 城 賀 恵 子
事 務 長	辻 村 雅 仁

〔常勤職員数（現員）〕

(令和7年3月31日現在)

職 種	職 員 数
医 師	2
診 療 放 射 線 技 師	1 1
臨 床 検 査 技 師	5
看 護 師	1 4
保 健 師	2
シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	1
事 務	4
運 転 手	2
合 計	4 1

5 主要事業開始日

事業区分			開始日	
胃がん検診	車検診		昭和62年 4月 1日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 5月19日	
		精密検査	昭和62年10月 5日	
子宮がん検診	車検診		昭和62年 5月12日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 6月 2日	
		精密検診	昭和62年 6月 2日	
乳がん検診	車検診		昭和63年 7月 4日	
	施設検診	一次検診	昭和62年10月 8日	
		精密検診	昭和62年10月 8日	
肺がん検診	車検診(胸部X線車)		平成11年 4月16日	
	車検診(ヘリカルCT車)		自 平成17年 4月11日 至 平成31年 3月31日	
	施設検診	一次検診	昭和63年 5月11日	
		精密検査	昭和63年 6月14日	
大腸がん検診	一次検診(郵送方式)		自 昭和63年 4月 1日 至 平成 4年 3月31日	
	車検診(胃と同時検診)		平成 4年 6月10日	
	施設検診	一次検診	平成 4年 4月 1日	
		精密検査	平成 4年 7月13日	
総合健診	車検診		平成10年 6月 4日	
	施設検診	一次検診	平成 9年 4月 1日	
		精密検査	平成10年 6月25日	
特定保健指導			平成21年 4月 1日	
細胞診・組織診検査			昭和62年 5月 6日	

6 施設認定および職員の認定資格

(1) 施設認定

- ・日本臨床細胞学会 細胞診認定施設
- ・日本臨床細胞学会 教育研修認定施設
- ・日本消化器がん検診学会 認定指導施設
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構
マンモグラフィ検診施設画像認定
- ・日本医師会臨床検査精度管理調査
- ・日本臨床細胞学会コントロールサーベイ
- ・全国労働衛生団体連合会
腹部超音波検査精度管理調査優評価
胃X線検査精度管理調査優評価
- ・日本人間ドック学会 機能評価認定施設

(2) 職員の保有する認定資格

【医師】

(医療法に基づく広告可能な専門医資格)

- ・日本内科学会 総合内科専門医
- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本消化器病学会 消化器病専門医
- ・日本超音波医学会 超音波専門医
- ・日本臨床細胞学会 細胞診専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
- ・日本産科婦人科学会 産婦人科専門医
- ・日本呼吸器学会 呼吸器専門医
- ・日本循環器学会 循環器専門医
- ・日本老年医学会 老年科専門医・指導医

(その他の専門資格)

- ・日本外科学会 外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医
- ・日本移植学会 認定医
- ・日本統合医療学会 統合医療指導医
- ・日本消化器内視鏡学会 指導医
- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本超音波医学会 超音波指導医
- ・日本消化器がん検診学会
認定医・総合認定医・指導医
- ・日本人間ドック・予防医療学会
人間ドック健診認定医
人間ドック健診専門医
人間ドック健診指導医
人間ドック健診情報管理指導士
- ・日本乳癌学会 乳腺認定医・専門医
- ・日本医師会 認定産業医
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構
検診マンモグラフィ読影認定医
乳がん検診超音波検査実施・判定医
- ・J A B T S (乳房超音波認定)
- ・日本呼吸器学会 指導医
- ・肺癌CT検診認定機構 認定医

- ・日本血栓止血学会認定医
- ・厚生省死体解剖資格認定 (病理解剖)
- ・日本循環器学会 FJCS 会員
(Fellow of Japanese Circulation Society)
- ・日本高血圧学会 特別正会員
(Fellow of the Japanese Society of Hypertension: FJSH)
- ・BEST DOCTOR

【診療放射線技師】

- ・日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構
検診マンモグラフィ撮影技術認定
- ・日本診療放射線技師会
ADVANCED R. T. (アドバンスド診療放射線技師)
- ・肺がんCT検診認定機構
肺がんCT検診認定技師
- ・日本消化器がん検診学会
胃X線検診読影補助認定
- ・日本消化器がん検診学会 大腸CT検査技師認定
- ・ピンクリボンアドバイザー
- ・業務拡大に伴う統一講習会認定
- ・診療放射線技師法改正に伴う告示研修

【臨床検査技師】

- ・日本臨床細胞学会 国際細胞検査士
- ・日本臨床細胞学会 細胞検査士
- ・日本超音波医学会 超音波検査士
(健診・循環器・体表臓器・消化器)
- ・J A B T S (乳房超音波認定)
- ・有機溶剤作業主任者
- ・タスク・シフト/シエアに関する厚生労働大臣指定
講習会認定
- ・特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者

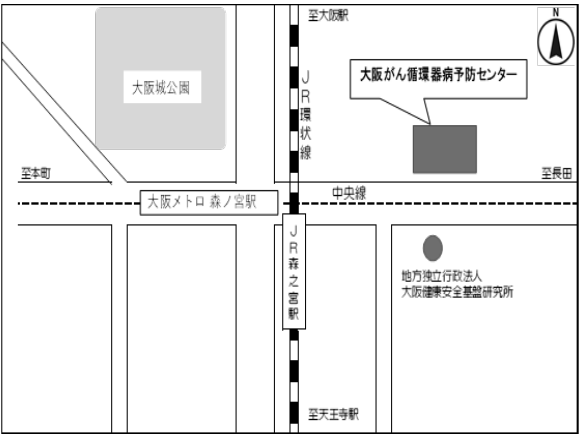
【看護師】

- ・日本消化器内視鏡学会 認定消化器内視鏡技師
- ・第一種 衛生管理者
- ・介護支援専門員
- ・3学会合同呼吸療法認定士

(令和7年3月 現在)

7 施設概要

- 所在地 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号
- 設立 昭和61年10月
- 階数 地下1階 地上6階—一部7階
- 面積 2,178.51㎡
- 延床面積 5,208.57㎡（車庫棟含む）



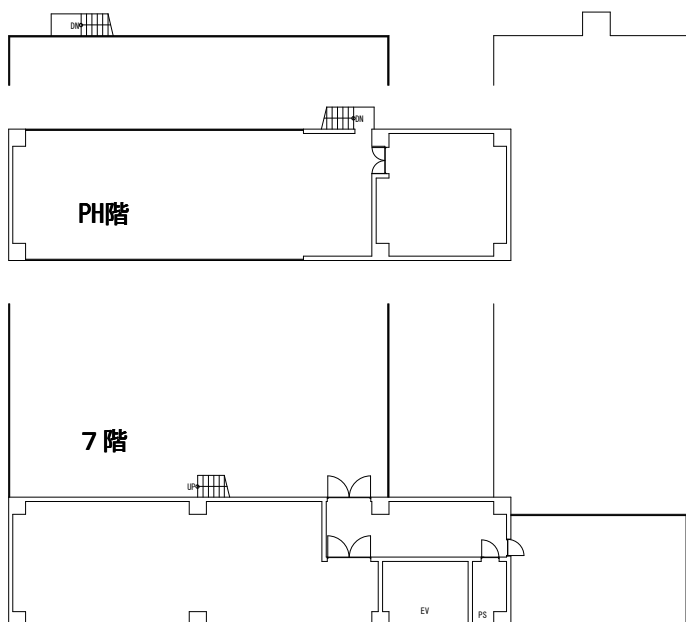
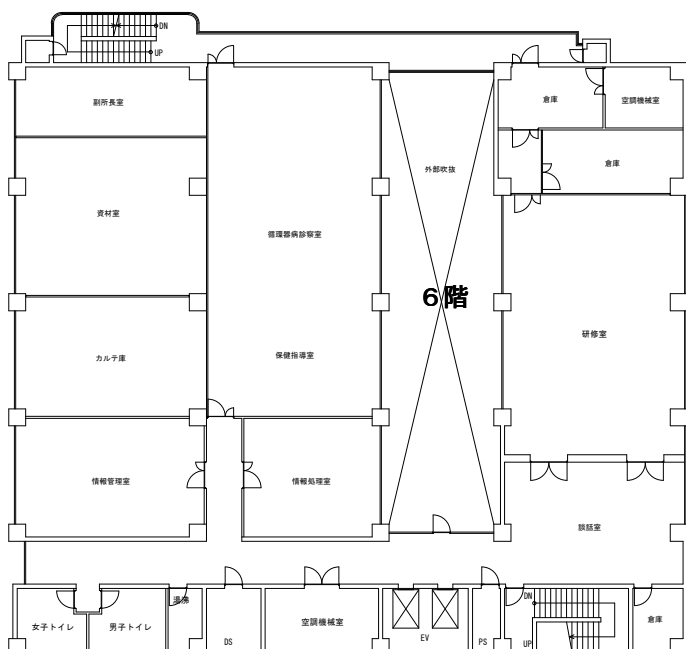
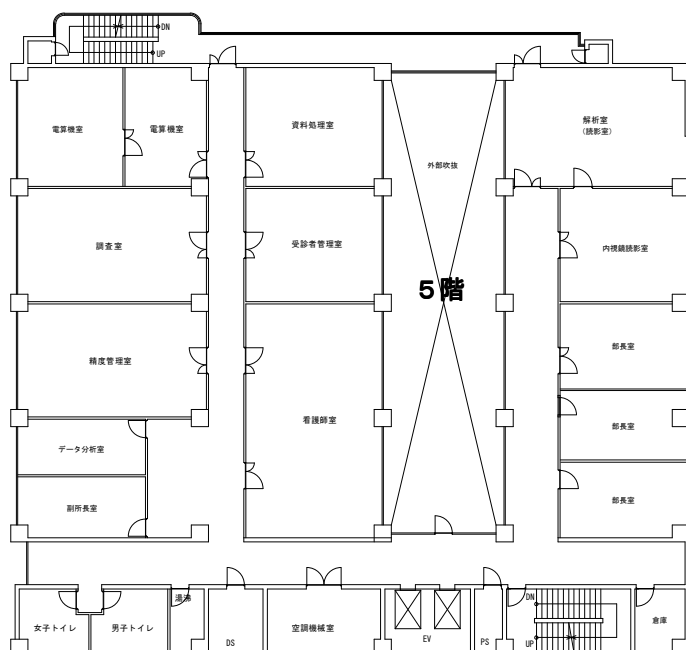
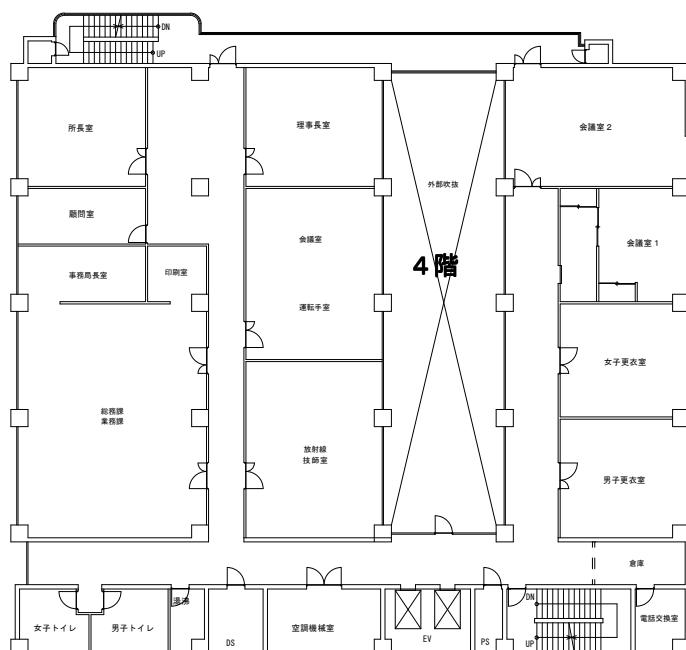
※JR環状線「森ノ宮」下車
※大阪メトロ 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車④号出口東へ徒歩2分

施設配置図

7階	機械室
6階	副所長室(循環器病検診担当)・保健指導室 カルテ室・研修室
5階	副所長室(がん予防検診担当)・部長室 看護室・調査室・データ管理室・電算機室 読影室
4階	事務室・理事長室・所長室・技師室 会議室
3階	総合健診室・乳腺診察室・超音波検査室 臨床検査室・標本作製室 ほか
2階	X線撮影室・内視鏡室・診察室
1階	ロビー・待合室・受付・診察室・問診室
B1階	機械室

各階配置図





8 主要備品一覧表

主 要 備 品

〔１F 婦人科及び診察室関連〕

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

品 名	数量	メ ー カ ー ・ 型 式	購入設置 年 月 日
医事会計システム	1	富士通ビジネスシステム HOPE/ST-3230	H 8 年 9 月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 SPA-750型	H17年 3 月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-371E	H18年 3 月
超音波診断装置	1	持田シーメンス C-3000	H19年 1 月
磁気カードリーダー	1	富士通 3150R-USB	H22年 7 月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-100N	H23年 4 月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-WS110	H27年 1 月
コルポスコープ	1	オリンパス コルポスコープ OCS-500	H27年12月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-271E	H28年 2 月
婦人科半導体レーザー	1	飛鳥メディカル社製 ADL-20	H28年 3 月
超音波診断装置	一式	シーメンス社製 SONOVISTA FXRE	H30年 3 月
OCR スキャナー	1	富士通(株) fi-7480	R 1 年 9 月
肺精検用モニター	一式	富士フィルム社製 3M2面参照用ビューワ等	R 1 年12月
小型採血管準備装置	1	テクノメディカ BC-R0B007	R 2 年 3 月
自動血圧計	1	オムロン (健太郎) HBP-9035	R 5 年 1 月
婦人科検診台	1	タカラベルモント DG-770N	R 5 年 3 月

〔２F レントゲン室関連〕

品 名	数量	メ ー カ ー ・ 型 式	購入設置 年 月 日
胸部ファントーム	1	アルダーソン社 XA-209型	S62年 5 月
ポータブル濃度計	1	伊原テクニク TM-S	H19年 6 月
骨密度連携システム	1	富士通	H22年 3 月
乳房X線撮影装置	一式	富士メディカルシステム アミュレット	〃
富士医用画像情報システム	1	富士フィルムメディカル SYNAPSE STD 一式	H24年 3 月
放射線管理システム	一式	DELL	〃
胃X線TVデジタル透視撮影装置 (6TV)	1	東芝メディカルX線システム SREX-D32C 形	H25年 3 月
給茶器	1	東芝製 HTP-360 MIPB-0	H25年 7 月
胃X線TVデジタル透視撮影装置 (5TV)	1	東芝メディカルX線システム SREX-D32C 形	H25年 9 月
全身用X線 CT 装置	1	シーメンス・ジャパン製 ハイエンド画像診断装置	H26年 3 月
医用X線高電圧装置	一式	キヤノン社製 KX0-50SS	H30年 3 月

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
超音波骨密度測定装置	2	日立製作所製 AOS-100SA	H30年9月
島津 FPD 搭載アイランド方式X線TVシステム	1	島津製作所製 SONIALVISION	H31年4月
X線天井走行型支持器	一式	キャノンメディカルシステムズ DST-1000A	R3年4月
胸部X線撮影装置（受光部）	一式	富士フィルムメディカル CALNED Flow C77	R3年5月
放射線科ネットワーク機器	一式	富士フィルムメディカル HUB スイッチ等	R7年3月

〔2F内視鏡室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
内視鏡検診台	2	タカラベルモント TR-83	S62年9月
医療用画像情報システム(内視鏡)	5	オリンパス IT-1	H22年3月
医療用吸引装置	1	オリンパス KV-5	H24年10月
ベッドサイドモニター	1	日本光電 PVN-2701	H28年6月
内視鏡用D I C O Mコンバータ	4	富士フィルム社製 VT-318D	H30年3月
内視鏡検診台	1	タカラベルモント EX-CS12	R6年9月

〔3F検査・総合検診室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
顕微鏡カラーテレビシステム	一式	ニコン	S62年5月
顕微鏡側光装置	1	ニコン P-1システム	〃
生物顕微鏡	13	ニコン	〃
落射蛍光・位相差顕微鏡	一式	ニコン FX-1	〃
落射蛍光システムパソコン	一式	PC-9801 VX41	S63年3月
マイコン心電計	1	フクダ電子 FCP-4720	H10年3月
細胞診業務支援システム	1	ニコンインステック	H14年2月
フルオート非接触眼圧計	1	キャノン TX-F	H18年3月
遺伝子増幅装置	1	アプライドバイオシステム Gene Amp PCR System9700	H19年10月
オージオメーター	1	リオン AA-S6	〃
ゲル読影装置	1	アトーププリントグラフ AE-6932CXCXCF-U	〃
乳腺超音波装置	1	日立メディコ EUB-7500	H21年3月
乳腺比較読影システム	1	GE 横河メディカル Prefetch	〃
腹部エコー	1	東芝メディカル Nemio XG	H21年5月
医療用画像情報システム（腹部エコー2台）	2	富士フィルムメディカル synapse	H22年3月

品 名	数量	メーカ ー ・ 型 式	購入設置 年 月 日
デジタルマンモ装置	1	富士フィルムメディカル AMULET	H22年 3 月
乳腺超音波カードリーダー	1	日立メディコ PDC-816	〃
自動染色封入装置	1	グリーンホスピタルサプライ	H23年 3 月
バイオメディカルフリーザ	1	エルクコーポレーション MDF-U730M	〃
薬用冷蔵ショーケース	1	サンヨー MDF-U730M	H23年 9 月
超音波ビペット洗浄機	1	シャープマニュファクチャリング UT-55	H24年 3 月
臨床化学自動分析装置	1	東芝メディカルシステムズ TBA-2000FR	〃
便潜血測定装置 OC センサー DIANA250	1	栄研化学 OC センサー DIANA250タイプ	H25年 3 月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	一式	GE ヘルスケアジャパン L0J1QE9	H25年 9 月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	1	GE ヘルスケアジャパン L0J1Qe	〃
ニコン顕微鏡	1	ニコン エクリプス Ci-L	H27年 1 月
椅子型電動診察台	1	タカラベルモント製 イクスフィール	〃
解析付心電計	1	フクダ電子 FCP-8800	H27年 3 月
密閉式自動固定包埋装置	1	サクラファインテック ETP ティッシュ・テック	〃
自動視力計	1	ニデック社製 NV-350-N	H27年 6 月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 F1-271E	H28年 2 月
オートスパイロメータシステム	一式	メディセオ S7WNRD	H28年 4 月
全自動身長体重計	1	エー・アンド・ディ AD-6228A	H29年 1 月
デジタル無散眼底カメラ	一式	キャノン社製 CR-2 AF	H30年 3 月
オージオメーター	1	リオン AA-58	〃
超音波診断装置	1	キャノン製 腹部エコーXario100Platinum	H31年 1 月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	〃
バー ドマグナム（自動生検装置）	1	㈱メディコン製 MG1522	R 1 年 5 月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	R 2 年 3 月
ニコン顕微鏡	2	ニコン エクリプス Ci-L	R 3 年10月
オリンパス顕微鏡	3	オリンパス BX43	〃
フルオート非接触眼圧計	1	キャノン TX-20P	R 4 年 3 月
パラフィン包埋ブロック作成装置	1	サクラファインテックジャパン ティッシュ・テック TEC6	R 5 年 4 月
尿自動分析装置	1	栄研化学 US-2300	R 6 年 9 月
心電図計システム	2	日本光電工業 心電計 ECG-2450他	R 7 年 3 月

〔４Ｆ事務局関連〕

品 名	数量	メーカ・型式	購入設置 年月日
コピー機	1	リコー MP6000RC	H22年 3 月
リソグラフ	1	理想科学工業製 オルフィス FW2230	H31年 4 月
PCA 法人給与経理システム	1	NEC デスクトップ MKL36/B-5	R 1 年 9 月
封書・ハガキ圧縮機	1	トッパン・フォームズ PRESSLE Core	R 3 年 3 月

〔５Ｆ検診解析及び調査部関連〕

品 名	数量	メーカ・型式	購入設置 年月日
総合検診システム	一式	富士通	H24年 3 月
健診システム（健太くん）	一式	ミエデン Win10移行作業	R 2 年 3 月

〔検 診 車〕

検 診 車 名	メーカ・型式	取得年月日
デジタル胃X線検診車（１号車）	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年 3 月24日
デジタル胃X線検診車（12号車）	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年 6 月 7 日
デジタル胃X線検診車（８号車）	日野・PB-RR7JJAA	H19年 3 月26日
婦人科検診車	日野・PB-RR7JJAA	H19年 3 月26日
デジタルマンモグラフィ検診車（２号車）	日野・BDG-FE8JPWG 装置載せ替え	H22年 9 月30日 R 3 年 1 月18日
デジタルマンモグラフィ検診車（１号車）	日野・BDG-FE2AB	R 2 年10月22日
デジタル胸部X線検診車	いすゞ・2RG-NPR88YM	R 6 年 2 月27日
デジタル胃X線検診車（２号車）	いすゞ・2RG-FTR90V4	R 6 年 4 月25日

9 会 計

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業
I 資産の部	
1. 流動資産	
流動資産合計	266,063,712
2. 固定資産	
(1)基本財産	
基本財産合計	22,000,000
(2)特定資産	
特定資産合計	475,441,787
(3)その他固定資産	
その他固定資産合計	182,792,915
固定資産合計	680,234,702
資 産 合 計	946,298,414
II 負債の部	
1. 流動負債	
流動負債合計	173,889,295
2. 固定負債	
固定負債合計	426,540,152
負 債 合 計	600,429,447
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	272,680,518
(うち基本財産への充当額)	(22,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(222,179,741)
2. 一般正味財産	73,188,449
(うち特定資産への充当額)	(30,255,589)
正味財産合計	345,868,967
負債及び正味財産合計	946,298,414

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	53,158
特定資産運用益	926,417
事業収益	905,733,009
受託事業収益	57,979,639
受取補助金	7,650,000
雑収益	10,291,952
受取寄付金	477,950
経常収益計	983,112,125
(2) 経常費用	
事業費	978,623,783
経常費用計	978,623,783
当期経常増減額	4,488,342
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	318,182
(2) 経常外費用	
固定資産除却損	21
指定正味財産への繰入金	0
経常外費用計	21
当期経常外増減額	318,161
当期一般正味財産増減額	4,806,503
一般正味財産期首残高	68,381,946
一般正味財産期末残高	73,188,449
II 指定正味財産増減の部	
受取補助金	26,500,000
受取寄付金	41,151
一般正味財産への振替額	△8,127,950
当期指定正味財産増減額	18,413,201
指定正味財産期首残高	254,267,317
指定正味財産期末残高	272,680,518
III 正味財産期末残高	345,868,967

Ⅲ 検診・健診事業

1 がん検診事業

当センターで実施している検診には、市町村や企業等からの依頼を受け、検診車を派遣して実施する巡回検診（以下「車検診」という。）と、施設内において行う検診がある。

車検診は、胃がん検診車3台、子宮がん検診車1台、乳がんマンモグラフィ検診車2台、胸部エックス線検診車1台で実施している。

施設検診は、胃がん検診（一次検診、精密検査）、子宮がん検診（一次検診、精密検査）、乳がん検診（一次検診、精密検査）、肺がん検診（一次検診、精密検査）、大腸がん検診（一次検診、精密検査）を実施している。

表1に検診項目別の検査件数を示した。一次検診の結果、要精密検査と判定された者については本人の希望に沿い地域の医療機関を紹介し、又は当センターにおいて精密検査を実施している。

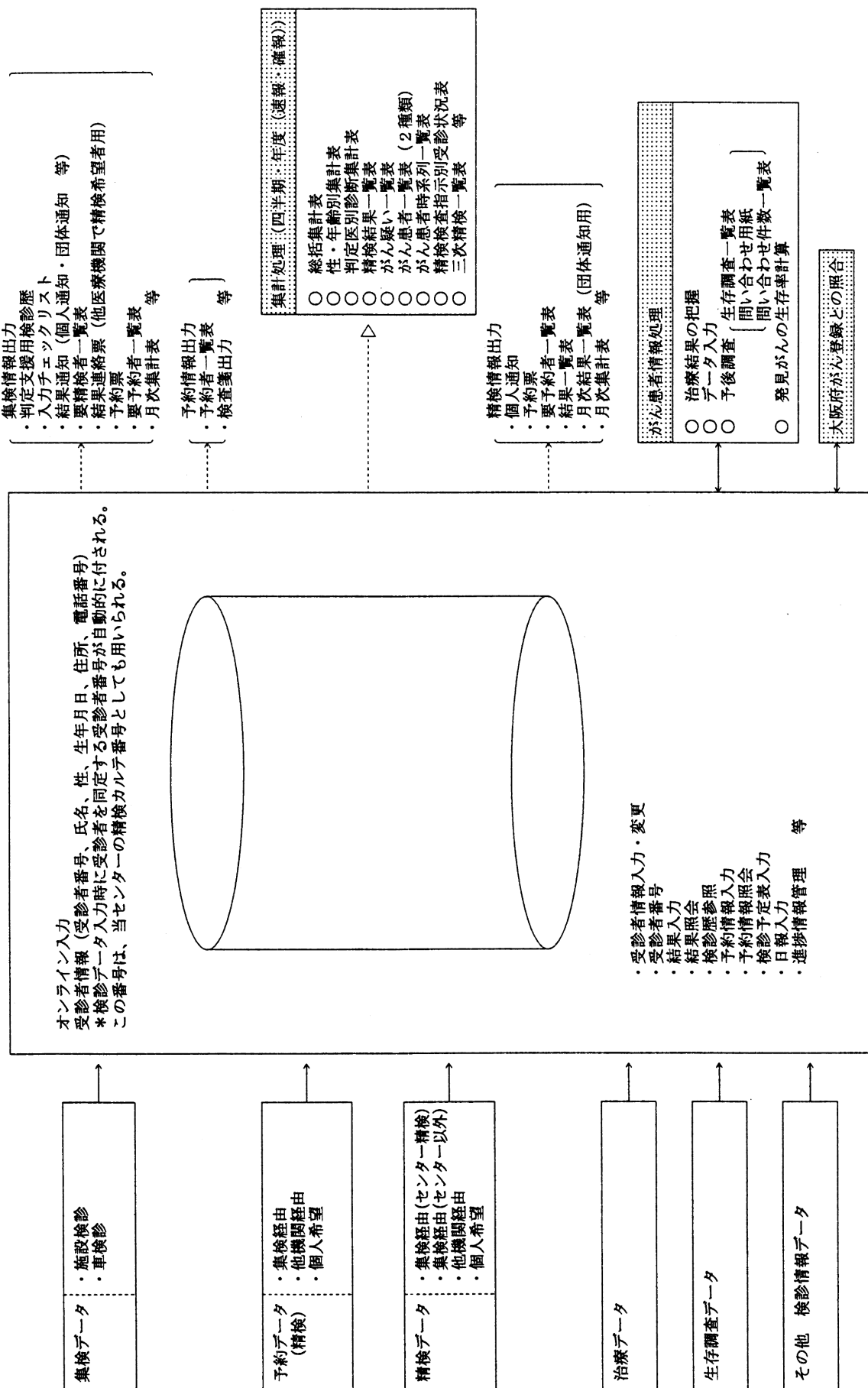
なお、当センターの精密検査において治療が必要と診断された者については、当センターは治療設備をもたない検診専門機関であるため、本人や家族と相談した上で適切な治療機関を紹介している。

受診者のデータの管理や結果通知・集計等の作業、並びに受診団体と協力しての精検未受診者に対する受診勧奨や、がん患者の追跡調査等にはコンピュータを活用している。図1に胃がん検診を例としてコンピュータ処理の概要を示した。

表1 検査件数

検 診 項 目			検 査 件 数 (延べ数)	
			令和 6 年度	前 年 度
胃 が ん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	13, 572	16, 470
		施 設 検 診	12, 523	12, 618
	精 密 検 査		1, 099	1, 158
	小 計		27, 194	30, 246
子 宮 が ん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	9, 755	9, 901
		施 設 検 診	7, 725	7, 431
	精 密 検 査		1, 068	1, 026
	小 計		18, 548	18, 358
乳 が ん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	13, 553	13, 499
		施 設 検 診	8, 744	8, 382
	精 密 検 査		2, 682	2, 782
	小 計		24, 979	24, 663
肺 が ん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	11, 869	12, 074
		施 設 検 診	6, 835	7, 220
	精 密 検 査		1, 055	1, 148
	小 計		19, 759	20, 442
大 腸 が ん 検 診	一 次 検 診	車 検 診	17, 623	18, 001
		施 設 検 診	16, 207	15, 871
	精 密 検 査		6	5
	小 計		33, 836	33, 877
が ん 検 診 合 計			124, 316	127, 586

図 1. 大阪がん循環器病予防センターのがん検診情報処理の概要（胃がん検診を例として）



(1) 胃がん検診

胃がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（主としてX線8枚撮影によるスクリーニング）と精密検査（胃内視鏡検査及び生検）を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

令和6年度の受診者総数は26,090人、車検診受診者数13,572人、施設検診受診者数12,518人であった。

車検診は、胃がん検診車3台を保有し、当センターの敷地内に3台（1, 2, 8号車）を配置して、主に近隣の地域の市町村や職域等の集団検診を実施している。

令和6年度の稼働回数は検診車3台合計で延べ427回であった。

表2に車検診、施設検診別の胃がん検診の成績を示した（月毎の実績は資料1(1)、P74を参照）。

令和6年度受診者26,090人のうち、要精密検査と判定された者は1,204人で、要精検率は4.6%であった。精検受診率は90.6%、発見胃がん患者は29人、うち早期胃がんは24人、発見率は、受診数に対して各々0.11%、0.09%であった。

当センターでは、昭和62年度開設当初より検診の胃X線間接写真の読影・判定に異時ダブルチェックを行ってきた。2度目の読影医師は、1度目の読影医師が「異常なし」と判定したものについてその情報を知った上で読影し「要精検」とするべきものを追加する異時ダブルチェック方式を採用している。

令和6年度胃X線検査での要精検数は998人であったが、このうち656人が1度目の読影で要精検と判定され、342人が2度目の読影で要精検と判定されたものであった。

検診発見胃がん19人のうち2度目の読影でチェックしたものは1人、このうち早期胃がんは1人であった（資料1(2)の末尾、P75）。

表3には検診対象別の胃がん検診の成績を示した。府内市町村が実施主体となり、地域住民を対象として行った胃がん検診数は27市町村の14,846人であった（資料1(2)、P75）。

これに対し、事業所等職域を対象として行った胃がん検診数は118団体7,174人、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った胃がん検診数は195人であった（資料1(2)、P75）。

当センターで精検を受診する精検実施割合は地域で13.9%、職域で60.9%、総計では26.9%を占めていた（資料1(7)、(8)、P80、P81）。

表2 胃がん検診成績（車検診・施設検診別）

区 分		受 診 者 数	要 精 検 者		精検受診者		胃 が ん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
車 検 診	1号車	3,729	202	5.4	181	89.6	5	0.13	4	0.11
	2号車	6,438	364	5.7	326	89.6	6	0.09	5	0.08
	8号車	3,405	202	5.9	183	90.6	6	0.18	5	0.15
施設検診		12,518	436	3.5	401	92.0	12	0.10	10	0.08
合 計		26,090	1,204	4.6	1,091	90.6	29	0.11	24	0.09
前年度計		29,088	1,581	5.4	1,434	90.7	28	0.10	23	0.08

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 施設検診には、内視鏡検診分を含む。

表 3 胃がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受 診 者 数	要 精 検 者		精検受診者		胃 が ん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
地 域	令和6年度	14,846	812	5.5	732	90.1	17	0.11	14	0.09
	前年度	17,369	1,158	6.7	1,044	90.2	26	0.15	21	0.12
職 域	令和6年度	7,174	177	2.5	148	83.6	2	0.03	2	0.03
	前年度	7,950	191	2.4	163	85.3	2	0.03	2	0.03
検 診 友の会等	令和6年度	195	9	4.6	9	100.0	0	0	0	0
	前年度	182	4	2.2	4	100.0	0	0	0	0

注）表2に同じ。

〈精密検査〉

精密検査は、当センター実施の集団検診の要精検者、並びに他の集検機関及び医療機関からの紹介者を対象に実施している。

表4に胃がん検診の精密検査件数を示した。X線直接撮影による検査は0件、内視鏡による検査

は1,099件、この内生検による病理組織診検査は135件であった。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの紹介者は55人であった（表5）。

表 4 胃がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和6年度	前 年 度
X 線 直 接 撮 影	0	0
内 視 鏡 (うち、生検実施)	1,099 (135)	843 (216)
合 計 (うち、生検実施)	1,099 (135)	843 (216)

表 5 胃がん 精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	胃 が ん (うち早期がん)	胃 腺 腫 胃ポリープ	胃 潰 瘍	そ の 他	異常なし
集検機関	18	1(1)	3	2	12	0
医師紹介	2	0(0)	0	0	2	0
個 人	35	0(0)	4	0	31	0
合 計	55	1(1)	7	2	45	0

(2) 子宮がん検診

子宮がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（細胞診によるスクリーニング等）と精密検査（細胞診、組織診、コルポスコピー等）を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

車検診は、子宮がん検診車1台を保有し、大阪府内全域の市町村や職域等の検診を実施している。

令和6年度の稼働回数は延べ180回であった。

表6に車検診、施設検診別の子宮がん検診の成績を示した。令和6年度の受診者数は車検診の頸部がん検診が9,755人、施設における頸部がん検診受診者が7,725（うち80人が体がん検診も受診）であった。

当センターで実施した一次検診受診者総数は頸部がん検診17,480人、体部がん検診80人で、この内要精密検査（二次検診）となった者は頸部がん検診が264人、要精検率は1.5%、体部がん検診が7人、要精検率は8.8%であった。

頸部がん検診の精密検査受診者は245人で、受診率は92.8%、体部がん検診の精密検査受診者は7人で受診率は100%であった。発見した頸部がん患者は6人、体部がん患者は1人、がん発見率は一次検診受診者数に対し各々0.03%、1.25%であった。

なお、頸部がん患者6人のうち微小浸潤がん患者は4人であった。

表7には検診対象別の子宮がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象として行った子宮がん頸部検診数は29市町村の11,395人であった。

これに対して、職域を対象として行った子宮がん頸部検診数は106団体5,466人で、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った子宮がん頸部検診数619人であった（資料2(1)、P82）。

当センターの行う子宮がん検診で要精検になった者のうち、当センターで精検を実施したものの割合は地域が35.3%、職域で81.4%、総計では53.1%を占めていた（資料2(3)、(4)、P84、P85）。

表6 子宮がん検診成績（車検診・施設検診別）

区 分	部 位	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		子宮頸がん 子宮体がん		うち微小 浸潤がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
車 検 診	頸部	9,755	135	1.4	123	91.1	4	0.04	4
	(体部)	0	0	0	0	0	0	0	0
施設検診	頸部	7,725	129	1.7	122	94.6	2	0.03	0
	(体部)	80	7	8.8	7	100.0	1	1.25	1
合 計	頸部	17,480	264	1.5	245	92.8	6	0.03	4
	(体部)	80	7	8.8	7	100.0	1	1.25	1
前年度計	頸部	17,334	240	1.4	223	92.9	6	0.03	5
	(体部)	140	4	2.9	4	100.0	1	0.71	0

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表 7 子宮（頸部）がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		子宮頸がん		うち微小浸潤がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
地 域	令和 6 年度	11,395	165	1.4	153	92.7	5	0.04	4
	前年度	11,239	135	1.2	125	92.6	5	0.04	4
職 域	令和 6 年度	5,466	93	1.7	86	92.5	1	0.02	0
	前年度	5,536	98	1.8	91	92.9	1	0.02	1
検 診 友の会等	令和 6 年度	619	6	1.0	6	100.0	0	0	0
	前年度	559	7	1.3	7	100.0	0	0	0

注）表 6 に同じ。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診の要精検者及び他の集検機関や一般医療機関からの紹介者を対象に頸部及び体部の細胞診検査を 1,161 件、組織診検査を 267 件、コルポスコピー704 件、下腹部エコー349 件、合計 2,481 件実施した（表 8）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は頸部受診者が 44 人、体部受診者が 14 人であった（表 9）。

表 8 子宮がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容		検 査 件 数	
		令和 6 年度	前 年 度
細 胞 診	頸 部	1, 0 6 5	1, 0 2 6
	体 部	9 6	1 1 4
	小 計	1, 1 6 1	1, 1 4 0
組 織 診		2 6 7	2 2 3
コ ル ポ ス コ ピ ー		7 0 4	8 3 8
下 腹 部 エ コ ー		3 4 9	2 6 0
合 計		2, 4 8 1	2, 4 6 1

表 9 子宮がん精検依頼分の成績

依 頼 元		件 数	が ん (うち微小浸潤がん)	CIN3 異 型 増 殖	CIN2 複雑型増殖	CIN1 単純型増殖	そ の 他	異常なし
集検機関	頸 部	6	0 (0)	2	0	0	4	0
	体 部	1	0	0	0	0	0	0
医師紹介	頸 部	30	0 (0)	0	0	0	30	0
	体 部	6	0	0	0	0	0	0
個 人	頸 部	8	0 (0)	0	0	0	8	0
	体 部	7	0	0	0	0	0	0
合 計	頸 部	44	0 (0)	2	0	0	42	0
	体 部	14	0	0	0	0	0	0

(3) 乳がん検診

乳がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診として視触診及び乳房撮影（マンモグラフィ）と精密検査としてX線撮影及び超音波検査、乳頭分泌物検査あるいは腫瘍穿刺検査による細胞診、組織診検査等を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。車検診は、デジタルマンモグラフィ検診車2台を保有し、大阪府内市町村や職域等の検診を実施している。

市町村が実施主体となり実施する地域検診、職域等とともにマンモグラフィのみの検診を実施している。

なお、令和6年度の稼働回数は2台で280回であった。

表10に令和6年度の車検診、施設検診別の乳がん検診の成績を示した。一次検診受診者総数は22,294人で、車検診受診者は13,553人、施設検診受診者は8,741人であった。

一次検診の結果、要精密検査となった者は900人で要精検率は4.0%であった。精密検査受診者数は842人、精検受診率は93.6%、発見した乳がん患者は86人、うち早期乳がん患者58人、発見率は一次検診受診者に対し各々0.39%、0.26%であった。

表11には検診対象別の乳がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象に行った乳がん検診数は30市町村16,017人であった。

これに対して職域を対象に行った乳がん検診数は107団体5,347人、大阪対がん協会や検診友の会会員、原爆被爆者等を対象に行った乳がん検診数は930人であった（資料3(1)、P86）。

当センターの乳がん検診で要精密検査となった者のうち当センターで精検を実施した者の割合は地域で42.2%、職域73.2%、総計では48.7%を占めていた（資料3(3)、(4)、P88、P89）。

表 10 乳がん検診成績（車検診・施設検診別）

区 分	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		乳 が ん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
車 検 診	令和6年度	13,553	607	4.5	557	91.8	58	0.43	41	0.30
	前年度	13,499	662	4.9	607	91.7	60	0.44	42	0.31
施設検診	令和6年度	8,741	293	3.4	285	97.3	28	0.32	17	0.19
	前年度	8,372	307	3.7	302	98.4	36	0.43	23	0.27
合 計	令和6年度	22,294	900	4.0	842	93.6	86	0.39	58	0.26
	前年度	21,871	969	4.4	909	93.8	96	0.44	65	0.30

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計した。

表 11 乳がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		乳 が ん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
地 域	令和 6 年度	16,017	730	4.6	675	92.5	72	0.45	48	0.30
	前年度	15,574	790	5.1	734	92.9	80	0.51	55	0.35
職 域	令和 6 年度	5,347	152	2.8	149	98.0	14	0.26	10	0.19
	前年度	5,353	163	3.0	159	97.5	12	0.22	8	0.15
検 診 友の会等	令和 6 年度	930	18	1.9	18	100.0	0	0.00	0	0.00
	前年度	944	16	1.7	16	100.0	4	0.42	2	0.21

注) 表 10 に同じ。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診からの要精検者及び他の集検機関、一般医療機関等からの紹介者を対象に、超音波検査を2,682件、X線撮影を2,405件、乳頭分泌を0件、合計5,218件実施した（表12）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は131人であった（表13）。

表 12 乳がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和 6 年度	前 年 度
超 音 波	2, 6 8 2	2, 7 8 1
X 線 撮 影	2, 4 0 5	2, 5 0 7
細 胞 診	7 8	1 0 4
分 泌 C E A	0	1
組 織 診	5 3	5 0
合 計	5, 2 1 8	5, 4 4 3

表 13 乳がん精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	乳 が ん (うち早期がん)	線維腺腫	乳 腺 症	そ の 他	異常なし
集 検 機 関	23	0(0)	3	2	14	4
医 師 紹 介	54	3(3)	6	3	41	1
個 人	54	5(3)	2	3	30	14
合 計	131	8(6)	11	8	85	19

(4) 肺がん検診

肺がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域などを対象に一次検診（胸部X線検査、喀痰細胞診によるスクリーニング）と精密検査（胸部CT検査、喀痰細胞診）を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、施設において胸部X線検査、胸部低線量CT検査及び喀痰細胞診による検診を実施するほか、車検診として、胸部X線検査及び喀痰細胞診による検診を実施している。

表14に施設（車）検診の成績を示した。

また、施設（車）とも、労働安全衛生法に基づく、定期健康診断なども実施している。

令和6年度の成績は、施設検診及び車検診で18,707人が受診し、要精密検査となった者630人、要精検率は3.4%、精検受診率は94.6%、結果、肺がんと診断された者は11人、がん発見率は、集検受診者に対して0.06%であった（資料4(1)、P90）。

なお、表15に検査内容別の検診成績を示した。

〈精密検査〉

精密検査は、施設における一次検診の要精検者などを対象に、胸部直接X線検査、CT検査、喀痰細胞診（三回法）を行っている。

令和6年度は胸部直接X線検査7件、CT検査1,056件、喀痰細胞診4件を実施した（表16）。

表14 肺がん検診成績（施設（車）検診別）

区 分	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		が ん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	(%)
施設（車）検診	令和6年度	18,707	630	3.4	596	94.6	11	0.06
	前年度	19,361	694	3.6	670	96.5	18	0.09

注）1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。なお、大阪市個別検診は施設検診に含まれている。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表15 肺がん検診成績（検査内容別：延べ数）

検査内容	区 分	年 度	検査件数	要 精 検 者		精検受診者		が ん	
				人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
X 線 直 接	施設(車)検診	令和6年度	18,707	630	3.4	596	94.6	11	0.06
		前年度	19,361	694	3.6	670	96.5	18	0.09
喀痰細胞診	施設(車)検診	令和6年度	804	0	0	0	0	0	0
		前年度	781	0	0	0	0	0	0
合 計		令和6年度	19,511	630	3.2	596	94.6	11	0.06
		前年度	20,142	694	3.4	670	96.5	18	0.09

注）表14に同じ。

表16 肺がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和6年度	前 年 度
胸 部 直 接 X 線 検 査	7	10
C T 検 査	1,056	1,149
喀 痰 細 胞 診	4	1
合 計	1,067	1,160

(5) 大腸がん検診

大腸がんの発見を目的として、市町村および職域などを対象に一次検診（免疫学的便潜血検査：2日法）を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、胃集団検診とセットで胃・大腸集団検診として地域住民を主に、職域等を対象に実施した。

表 17 に検診対象別の大腸がん検診の成績を示した。

市町村が実施主体となり行った大腸がん検診は

25 市町村 21,893 人、職域 89 団体 11,442 人、検診友の会会員等 495 人であった（資料 5(1)、P93）。

大腸がん検診受診者総数 33,830 人のうち、便潜血検査の結果、陽性で要精密検査と判定された者は 1,466 人、要精検率 4.3%、精検受診者は 1,231 人、精検受診率 84.0% で、発見した大腸がん患者 57 人、うち早期大腸がん 39 人、発見率は集検受診者に対して各々 0.17%、0.12% であった。

大腸がん検診の精密検査は当センターでは実施しなかった。（資料 5(6)、P98）。

表 17 大腸がん検診成績

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		が ん		早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和 6 年度	21,893	1,013	4.6	891	88.0	42	0.19	28	0.13
	前年度	22,051	1,004	4.6	861	85.8	61	0.28	41	0.19
職 域	令和 6 年度	11,442	419	3.7	319	76.1	13	0.11	10	0.09
	前年度	11,354	414	3.6	304	73.4	11	0.10	7	0.06
検 診 友の会等	令和 6 年度	495	34	6.9	21	61.8	2	0.40	1	0.20
	前年度	467	22	4.7	13	59.1	0	0	0	0
合 計	令和 6 年度	33,830	1,466	4.3	1,231	84.0	57	0.17	39	0.12
	前年度	33,872	1,440	4.3	1,178	81.8	72	0.21	48	0.14

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 精密検査の中で精密検査を他機関で受診した者の成績は、当該機関からの報告を得て集計している。

〈精密検査〉

全大腸内視鏡による精密検査は、実施していないが、人間ドック等の要精密検査者に対する大腸 CT 検査を 6 件実施した。

2 総合健診

施設内においては、協会けんぽが実施する生活習慣病予防健診、定期健康診断、特定健康診査、循環器健診を実施し、これらの健康診査とがん検診を同時に受診することができる態勢をとっている。また、総合的な人間ドック健診も行っている。

協会けんぽの生活習慣病予防健診は4,453人で、前年度より168人増加した。労働安全衛生法に規定する定期健康診断は1,279人で、前年度より149人の増加となった。

特定健康診査は1,790人で、前年度より25人の増加となった。

人間ドックは4,134人で、充実コース人間ドック

193人を含んでおり、前年度より1,145人の減少となった。

循環器健診は2,959人で、前年度より92人増加した。

その他の健診は51人で、前年度より2人の減少となった。

また、平成10年度から実施している検診車を活用した総合的な健康診査は、平成28年度より施設での健診に変更された。

上記の一次健康診査にひき続いて精密検査を実施したのは、がん検診の精密検査を除き816人となり、前年度より42人の増加となった。精密検査の内容は、腹部造影エコーや血液検査、尿検査などである。

表18 総合健診検査人数

(人)

健 診 種 別	令和6年度	前 年 度
生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	4,453	4,285
定 期 健 康 診 断	1,279	1,130
特 定 健 康 診 査	1,790	1,765
人 間 ド ッ ク	4,134	5,279
循 環 器 健 診	2,959	2,867
そ の 他 の 健 診	51	53
上 記 合 計	14,666	15,379

＜特定健康診査・特定保健指導＞

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年度からメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査及び特定保健指導が開始され、当センターにおいても平成21年度から実施している。

特定健康診査及び定期健康診断や人間ドックを実施している団体の中で、特定保健指導の実施について依頼のあった団体の受診者のうち、生活習慣の改善が必要とされる対象者に対して特定保健指導を実施した。

11の健康保険組合と特定保健指導実施の契約を締結し、その組合員を対象とした特定保健指導を実施した。

令和6年度実績（次年度以降、初回面接実施者含む）

- ・特定健康診査 1,790人
- ・特定保健指導 583人
 - うち 動機づけ支援 293人
 - 積極的支援 290人

＜保健指導等＞

保健指導の契約がある8団体で循環器健診コースの受診者について、がん予防と循環器病予防の観点から、肥満の有無に関わらず、ハイリスク者に焦点を当てて、当センターの定めた基準に従って医師と保健師・管理栄養士が保健指導を行っている。平成29年度より開始した労災二次健診では、全受診者へ保健指導を実施した。

充実コースの結果説明では、ハイリスク者であるか否かにかかわらず、生活アドバイスとして受診者全員に保健指導を実施している。

令和6年度実績

- ・保健指導（労災二次健診受診者含む） 315人
- ・生活アドバイス 193人

3 検 査

画像検査、生理検査ならびに検体検査等の検査実績を表19及び表20に示す。表19には施設における検査の項目別実績を、表20にはがん検診における

細胞診、組織診、大腸便潜血検査実績を検査項目別件数として示す。

表19 施設における検査件数

(件)

区 分		令和6年度	前年度	区 分		令和6年度	前年度
放 射 線	胃 X 線 （16方向）	4,180	4,739	な 生 理 検 ど 査	ピロリ菌呼気検査	14	12
	胃 X 線 （8方向）	4,469	4,292		ピロリ菌除菌件数	6	7
	胸 部 X 線	16,813	16,353	検 体 検 査	便 潜 血	16,207	15,871
	胸 部 C T	1,194	1,148		検 尿	14,580	13,704
	マンモグラフィ	9,752	9,557		尿 沈 渣	1,753	1,510
生 理 検 査 な ど	心 電 図	12,900	12,033			血 液 検 査	14,485
	視 力 検 査	12,816	11,973	細 胞 診	子 宮 頸 部	8,509	8,402
	聴 力 検 査	12,784	11,929		子 宮 体 部	177	268
	骨 密 度	4,985	4,966		喀 痰 細 胞 診	807	791
	眼 底 検 査	8,964	7,925		乳 腺 吸 引 細 胞 診	78	108
	呼 吸 機 能 検 査	5,327	4,567	内 消 視 鏡 化 検 査 器	上 部 消 化 管	4,973	4,745
	腹 部 超 音 波 検 査	6,515	5,717		下 部 消 化 管	0	0
	腹部超音波検査(精検)	274	272		〔上部消化管 下部消化 管の内 内 視 鏡 下 生 検〕	(277)	(311)
	乳 腺 超 音 波 検 査	5,030	5,064				
	経膣超音波検査	696	449	そ 他	子宮レーザー蒸散術	3	2
合 計						168,291	160,039

注) 数値の () は再掲。

表20 細胞診・組織診・便潜血検査件数

(件)

検査内容	検査項目	依 頼 元	件 数	
			令和6年度	前 年 度
細胞診	子宮がん	車 検 診（頸部）	9,757	9,901
		施 設 検 診（頸部）	7,725	7,434
		〃（体部）	81	142
		精 密 検 診（頸部）	801	969
		〃（体部）	96	115
		小 計	18,460	18,561
	肺 が ん	一 次 検 診（喀痰）	807	791
		精 密 検 査（喀痰）	4	1
		小 計	811	792
	乳 が ん 精 密 検 診		79	112
	そ の 他		196	152
	合 計		19,546	19,617
組 織 診	子 宮 が ん 精 密 検 査		218	196
	胃 が ん 精 密 検 査		279	332
	乳 が ん 精 密 検 査		53	50
	合 計		550	578
大 腸 便 潜 血 検 査			33,837	33,872
総 合 計			53,933	54,067

4 医療機関との連携

大阪府医師会所属の医療機関との連携協調を事業の柱の1つとして推進している。

医療機関との連携事業としては、各種がん検診の精密検査の受入、患者紹介、施設見学、医療技術に関する研修などが中心であり詳細は下記の通りである。

(1) 紹介患者の受け入れ

一般医療機関などから紹介された患者については、当センターでは検査のみを実施、検査結果を当該医療機関に報告し、結果の説明、治療などは原則として紹介元の医療機関で行うという方法をとっている。

令和6年度の一般医療機関などからの精密検査紹介患者数は、胃がん検診55人、子宮がん頸部検診44人、子宮がん体部検診14人、乳がん検診131人であった。

(2) 患者の紹介

施設及び車での集団検診の結果、要精密検査とされた者のうち、主治医あるいは近医での受診を希望する者に対しては、精密検査に必要なフィルム、データなどをそろえて紹介している。

令和6年度の精検受診者の精検実施機関の内訳は、胃がん検診では73.1%、子宮がん検診では46.9%、乳がん検診では51.3%、大腸がん検診では100%が当センター以外の医療機関での精検受診であった。

また、当センターの精密検査で手術などの治療が必要と診断された患者に対しては、患者本人や家族と相談の上、適切な病院に紹介している。

(3) 主な紹介医療機関

医療機関名	紹介数
大阪国際がんセンター	87
大阪医療センター	14
大阪市立総合医療センター	11
近畿大学病院	9
大阪公立大学医学部附属病院	8
大阪大学医学部附属病院	8
大阪けいさつ病院	7
大阪赤十字病院	7
大手前病院	6
大阪はびきの医療センター	5
大阪ろうさい病院	4
近畿中央呼吸器センター	4
市立池田病院	4
市立貝塚病院	4
大阪プレストクリニック	3
北野病院	3
済生会吹田病院	3
八尾市立病院	3
関西医科大学総合医療センター	2
城山病院	2
日本生命病院	2
大阪刀根山医療センター	2
JCHO大阪病院	1
泉大津急性期メディカルセンター	1
大阪医科薬科大学病院	1
大阪急性期総合医療センター	1
大阪鉄道病院	1
関西医科大学付属香里病院	1
関西医科大学附属病院	1
堺市立総合医療センター	1
市立柏原病院	1
市立吹田市民病院	1
市立豊中病院	1
市立東大阪市医療センター	1
生駒市立病院	1
京都大学医学部附属病院	1
神戸市立医療センター西市民病院	1
奈良県総合医療センター	1
兵庫医科大学病院	1

5 大阪府委託事業と研修

精度の高いがん検診を広く大阪府民に提供するためには、受診率の向上と検診そのものの精度管理が重要である。そのためには、検診に従事する者の資質の向上とがん検診の実態等の把握が必要である。

がん予防検診部門では、がん予防検診センター開設当初から、医療スタッフの技術研修や技術実習を行うとともに、がん検診の実態把握等に努めてきた。さらに、平成24年度からは大阪府からの委託を受け、組織型検診推進のための精度管理センター事業を行っている。

また、循環器病予防部門では、令和6年度より小児がん治療経験者長期フォローアップ支援事業を開始した。

(1) がん検診の実態把握

大阪府から委託を受け、精度管理基礎調査をもとに、がん検診の実態並びに検診成績等の把握を行っている。把握した調査結果は、毎年、冊子『大阪府におけるがん検診』にまとめて、大阪府内市町村や大阪府医師会等多数の関係機関に配布している。

これは、より効率的・効果的ながん検診を展開していくための基礎資料となっている。なお、これらの事業は大阪府精度管理システムを運用管理し実施している。

(2) 市町村、検診機関支援

がん予防検診部門では調査室が中心となり、府内市町村や検診機関を対象に、がん検診精度向上に対する支援、がん検診提供体制確保に対する支援、受診率向上に対する支援を行った。支援事業内容の詳細は次頁に掲載する。

(3) がん検診受診促進事業

大腸がん検診受診者の増加及び定着のため、社会保険の中で最も加入者が多い全国健康保険協会（以下協会けんぽ）被扶養者を対象に、協会けんぽの集団特定健診案内に大腸がん検診キットを同封し、予約をしなくても受診できる「ついで受診」の機会を、府内の3市に提供し、その効果を検討した。

さらに受診者数の定着を目的に、次年度にフォローアップを実施するための支援を2市に対して実施した。

(4) 小児がん治療経験者長期フォローアップ支援事業

小児期に受けた造血幹細胞移植、抗がん剤による化学療法、そして放射線治療によりがん治療が終了し数年から10年以上経過した後に出現する晩期合併症（二次がん・心血管障害・内分泌障害・神経障害）からがん治療経験者を守り、健康を維持することを目的として、長期フォローアップ健診を16歳から40歳のがん治療経験者を対象として実施している。また、検査以外に問診ならびに診察によりその他の合併症の有無のチェックを行なっている。

(5) 研修及び施設見学

前身のがん予防検診センター開設当初より、国内外の各方面から医療スタッフの研修生を受け入れ、研修・実習及び施設見学を多数実施してきた。

放射線技師室では、国際医療技術交流財団からの依頼を受け「JICA 医療技術スタッフ研修」として海外からの多数の技術職研修生を受け入れてきた。また、婦人科検診部でも開設当初から多くの海外研修生を受け入れ、技術研修及び技術実習を行ってきた。

これまでに、マレーシア、カンボジア、タンザニア、中国、台湾、韓国、スペイン、パラグアイ等の多くの国々から医師、放射線技師等の医療技術職研修生を受け入れた。

1. 検診精度の向上に対する支援

(1) 精度管理委員会開催への支援

市町村が開催する精度管理委員会における資料作成協力などを行った。

支援市町村数 乳がん：2市1地域
子宮がん：1地域
肺がん：1市1地域
大腸がん：1市1地域
胃がん：1市1地域

(2) 精検受診率の向上に対する支援・精度管理指標の分析

効率的な精密検査結果報告方法を検討するための助言や報告書案の作成などを行った。

また、大阪府精度管理システムを活用し、精度管理指標の分析、評価を行った。

支援市町村数：15市町村

(3) 市町村からの電話相談・研修会の開催

《電話相談》 件数：133件

市町村がん検診担当者からの電話相談に対応した（別表1）。

《研修会》

大阪府が開催した「がん検診の受診勧奨策等 実行支援事業研修会」にファシリテーターとして参加し、市町村がん検診の受診勧奨についてのグループワークが円滑に進むよう支援した。

開催日：令和6年8月26日

参加者数：28市町村 42名

(別表1)

電話相談内容	件数
がん全般	16
胃がん	29
大腸がん	20
肺がん	24
子宮頸がん	25
乳がん	19
合計	133

(4) 肺癌検診精度向上に向けた胸部X線読影講習会への協力

大阪府が主催した「肺癌検診読影講習会」へ、症例の提供および講師の派遣を行った。

2. がん検診の提供体制の確保に対する支援

(1) 実施要領や受診票の改訂に対する支援

実施要領やがん検診問診票の改訂を行う市町村に対し、内容の確認や助言を行った。

支援市町村数：7市町

(2) 指針に基づいた検診実施のための支援

指針外検診の廃止や、新たに内視鏡検診を開始する市などに対し、指針に基づいた検診が実施できるように、実施要領や受診票などの作成の支援を行った。

支援市町村数：12市町

3. 受診率向上に対する支援

(1) 個別受診勧奨の推進に対する支援

個別受診勧奨を実施する市町村に対し、勧奨対象の選定、勧奨方法、対象に応じた勧奨ツールの提案を行った。また、その効果について検証した。

支援市町村数：3市

4. その他

(1) 大阪府精度管理システムの運用管理

府内43市町村に対し運用している精度管理システムの改修
胃内視鏡検診を開始した市町村についてのシステム改修を行った。
プロセス指標の基準値を比較できるよう「大阪府におけるがん検診」内に「基準値ファイル」を追加するようシステム改修を行った。

(2) 受診者数集計システムの運用管理

がん検診の受診者数を早期に把握計することを目的に、受診者数集計システムを運用し、令和6年度速報値を府内市町村に報告した。

5. がん検診受診促進事業

吹田市・摂津市・柏原市在住の特定年齢の全国健康保険協会（以下協会けんぽ）被扶養者に対し、大腸がん検診キットを送付し、集団特定健診受診時に予約なしで、大腸がん検診を受診可能とした。また、今年度の受診者に対し、次年度も継続して大腸がん検診を受診していただけるように、受診勧奨はがきを作成し、送付した。

《受診者数》

吹田市： 248人
摂津市： 37人
柏原市： 32人

IV 広報活動

1 概 要

広報活動として、がん及び生活習慣病に関する知識の啓発・普及活動並びに、当センターの事業紹介を行っている。

保健所や府内市町村などの協力も得て、喫煙習慣や食生活などの生活習慣の改善、がんの早期発見のために、がん検診を受診することの重要性などについての知識の普及を目指している。

また、所外で開催される研修会・講演会等に職員を講師として派遣している。

2 がん予防キャンペーン大阪2024

令和6年9月～令和7年3月にかけて、大阪府、大阪市、大阪府医師会をはじめ公衆衛生関係団体や婦人団体など計9団体で構成する「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会（事務局：当センター）の主催の下でキャンペーンを開催した。

検診受診率の向上は、がん対策の大きな柱である。がんについての正しい知識を広く提供し、大阪府のがん検診受診率を向上させるために、府民を対象に講演会を毎年開催している。令和6年度は、「知っておきたい。胃がん検診と最近の治療法」をメインテーマとし、胃がん検診や最新の治療についての対面での講演会を開催し、講演動画をWEB上に公開した。また、前年に引き続き、当センターのホームページにおいて、作成した教材を閲覧及びダウンロードできるようにし、継続したがん予防のための啓発活動を展開した。事業内容の詳細は次頁に掲載する。

3 マスメディア

- 新聞・テレビ・ラジオ等の報道機関の取材に協力し、がん検診及び循環器病予防健診に関する知識の啓発・普及に努めた。
- ・ 誌 名：医師向けサイト PLUS CHUGAI
(中外製薬株式会社)
medical forum CHUGAI 2024 Vol.28 No.2
 - ・ 掲載者：向井幹夫
 - ・ 内 容：Pharmacy Frontline 腫瘍循環器診療において薬剤師に期待すること
 - ・ 日 時：2024年8月26日

 - ・ 誌 名：医療従事者向けサイト CareNet
連載企画：見落とさない！がんの心毒性
 - ・ 掲載者：向井幹夫
 - ・ 内 容：腫瘍循環器学と不易流行【見落とさない！がんの心毒性】第30回(最終回)監修・著作
 - ・ 日 時：2024年11月15日

4 オンライン市民公開セミナー

「がん検診がきっとあなたを救う 早期発見が大切」をメインテーマに、当センターホームページ上に特設ページを開設し、オンライン市民公開セミナーを開催した。

講 演 タ イ ト ル	視聴回数
健（検）診の意義一備えあれば憂いなし！	1009
ヒートアップしている呼吸器の病気	612
ブレストアウェアネスって知っていますか？	523
なぜ子宮頸がん検診を受けるのか？	964
脳卒中や心臓病にならないようにするには	677
メタボリック症候群と特定保健指導	3646
高齢者疾患（認知症、誤飲性肺炎、フレイル）	1259
知っていますか？前立腺がん、膵臓がん	2595
超音波検査で見つける肝臓・胆嚢・膵臓の病気	13000
上部・下部消化器がん検診について	978
自分と周囲の健康を守るために禁煙を！	2795
アルコールによる肝障害と肝がん発症	4209
“卵巣がんはこわい”って本当ですか？	9652
乳癌にかかりやすい人は？乳癌は遺伝するの？	453
糖尿病のなぜに答える	1061
今、増えている膵臓がんについて	5588
がんサバイバーの皆様へ	2526
合 計	51547

1. 講演会開催及び動画公開

(1) 講演会開催

- テーマ 『知っておきたい。胃がん検診と最近の治療法』
- 会場 OMM ビル1階 グラン（大阪市中央区大手前1-7-31）
- 実施日 2024年10月10日（木）
- 時間 開会時間 14：00 / 閉会時間 15：45
- 参加人数 81名
- 内容

1) 開会の挨拶 伊藤 壽記 実行委員長

2) 講演 ◇『胃がん検診の実態について』
伊藤 壽記 氏（大阪がん循環器病センター 所長）

◇『早期胃がんの内視鏡治療』
金坂 卓 氏（大阪国際がんセンター 消化管内科 副部長）

◇『胃・食道がんに対する最新の外科治療 ロボット手術』
大森 健 氏（大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院
消化器外科主任部長 上部消化器外科部長 ロボット手術支援センター長）

3) 総合討論 司会：伊藤 壽記 氏
出演：金坂 卓 氏・大森 健 氏

(2) 講演会動画の公開

- 掲載場所 大阪がん循完備病予防センターホームページ内
がん予防キャンペーン大阪2024ページ
- 掲載期間 2024年11月1日～2025年3月31日
- 視聴数 32,879回（講演動画3本の計）

(3) 広報活動

- 広報誌 府政だより
- チラシ・ポスター 各市町村、保健所、主催団体、大阪府連携協定企業2団体
- ホームページ等 大阪府、大阪市、大阪がん循環器病予防センター、大阪府成人病予防協会

2. 啓発資料の作成・増刷

- 1) がん検診啓発ポスター (増刷) (B3版 カラー 3,500部)
- 2) 5がん検診啓発リーフレット (増刷) (A4版 カラー 10,000部)
- 3) 乳がんリーフレット (増刷) (A4版 カラー 2種類 10,000部)

3. 2024年版がん予防啓発冊子等の配布

がん予防のための正しい知識を掲載した冊子等が、一人でも多くの府民の手に届くよう、各関係機関の協力を得て、場所や経路に応じた配布を行った。

(別表1) 9月のがん征圧月間に配布した機関および冊子枚数一覧表

	5 がん検診啓発リーフレット	がん検診啓発ポスター
主 催 団 体	各30部 合計150部	各2部 合計10部
大 阪 府	10部	2部
大 阪 府 医 師 会 (郡市区医師会64カ所)	10部と各50部 合計3,210部	1部と各50部 合計3,201部
大 阪 市 (保健センター24カ所)	各50部 合計1,250部	各2部 合計50部
東 大 阪 市、堺 市 摂津市 (13カ所)	各50部 合計650部	各2部 合計26部
府内市町村 (39カ所)	各50部 合計1,950部	各2部 合計78部
府内保健所 (14カ所)	各45部 合計630部	各1部 合計14部
合 計	7,850部	3,381部

4. その他の資料の配布状況

啓発資料の追加を希望する団体には過去のがん予防キャンペーン大阪で作成した資料も含めて配布した。

(別表2) その他の資料の配布状況 (追加希望等)

資 料 の 種 類	作 成 年 度	市 町 村	医 療 機 関 そ の 他	計
乳がん検診	2018	250	0	250
子宮がん検診	2020	150	0	150
がん検診啓発リーフレット	2020	900	680	1,580
大腸がん検診	2018	200	0	200
肺がん検診リーフレット	2016	0	430	430
胃がん検診リーフレット	2017	310	430	740
ブレストアウェアネスカード	2021	3,850	685	4,535
乳がん検診リーフレット	2023	4,050	877	4,927
がん検診啓発ポスター	2024	0	25	25

5. 乳房触診モデルの貸し出し

乳がん検診受診の啓発を目的とし、社内啓発や乳がん検診啓発イベントで活用いただける、乳房触診モデルの無償貸出しを行った。

貸出し機関数 10 機関 ・ 貸出し回数 12 回

【主催団体】 大阪府／大阪市／(一社)大阪府医師会／(公財)大阪対がん協会／(一財)大阪府結核予防会
大阪府地域婦人団体協議会／大阪市地域女性団体協議会／(公財)大阪成人病予防協会
当センター(事務局)

5 講師派遣

大阪府内市町村や医師会、企業の健康保健組合等からの依頼により、市町村や企業の健康保険組合等が主催する研修会・講演会に講師等として職員を派遣し、がん・循環器疾患に関する知識の啓発・普及に努めた（表21）。

表21 講師派遣実績表

《伊藤 壽記 所長》

講演・研修等 内容	主 催 者	会 場	開 催 日
ソウルサイバー大学国際研究 セミナーでの講義	ソウルサイバー大学	ソウルサイバー大学	令和6年 4月28日
これからの医療とまちづくりシン ポジウム「キュア（cure）からケ ア（care）へー人類の進化から見 た光と影ー」	MOA インターナショナル	奈良春日野 国際フォーラム	令和6年 5月25日
日本統合医療学会（IMJ）認定研修 講義 「生活習慣病」	日本統合医療学会	WEB	令和6年 6月15日
日本統合医療学会（IMJ）認定研修 講義 「健康と病気」	日本統合医療学会	WEB	令和6年 6月16日
大阪大学医学部臨床医学特論2 講義 「全人的統合医療」	大阪大学医学部講義室	大阪大学医学部講義室	令和6年 7月4日
日本ホメオパシー学会特別講演： 「ヒトの進化と高齢者疾患～直立 二足歩行がもたらした“光と影”」	日本ホメオパシー学会	AP 浜松 N.O ルーム	令和6年 10月27日
第28回日本統合医療学術大会 代表理事講演「ヒトの進化の過程 への一考察～二足歩行がもたらし た“光と影”」	日本統合医療学会	ライトキューブ宇都宮	令和6年 12月14日

《向井 幹夫 副所長兼総合健診部長兼循環器病検診部長兼保健指導室長》

講演・研修等 内容	主 催 者	会 場	開 催 日
第42回黎明心臓フォーラム Onco-Cardiology 最近のトピック ー静脈血栓塞栓症のマネジメントを 中心にー	鹿児島循環器 黎明	鹿児島市	令和6年 7月20日
晩期心血管合併症とがんサバイバー シップを考える	KSHS（キチンと手術・ホ ンネで再建乳がん体験者 の会）	東京都都市センター	令和6年 9月15日

講演・研修等 内容	主 催 者	会 場	開 催 日
Prostate Cancer Expert Seminar 前立腺癌治療の深化. 前立腺癌薬物治療における心血管リスクマネジメントー最新ガイドラインと臨床実践の統合ー	フェリング・ファーマ社	東京都品川	令和 6 年 9 月 25 日
第7回対がんセミナー 高まる腫瘍循環器学の役割ー高齢化や新薬登場でがんと心臓病との関係が重要にー	公益財団法人日本対がん協会	WEB	令和 6 年 10 月 9 日
滋賀県民公開講座 人生100年時代. がんと心臓病を克服するために 腫瘍循環器学 がん心臓病の新しい関係 がん治療を受ける際に心臓の合併症から皆様を守ります	滋賀県 滋賀医科大学	滋賀医科大学	令和 6 年 11 月 9 日
食生活改善推進養成講座 府民の健康状況と生活習慣病予防	箕面市 箕面産と食の推進室	箕面市総合 保健福祉センター	令和 6 年 11 月 20 日
吹田市医師会乳がん検診研修会 がんサバイバーを長年診るかかりつけ医のための腫瘍循環器学 (Onco-Cardiology) 入門	吹田市医師会	吹田市医師会館	令和 6 年 12 月 4 日
ヤンセンファーマ MSL 勉強会 がん関連血栓症ー静脈血栓塞栓症のマネジメントを中心にー	ヤンセン・ファーマ社	ヤンセン・ファーマ社 (大阪)	令和 7 年 1 月 14 日
第169回チアー活動 がん治療を受けたら知っておきたい心臓と血管の晩期障害ーがん治療後も健やかに生きていくためにー	NPO 法人 女性医療ネットワーク プレストケア 部会マンマチアー (Mamma Cheer) 委員会	WEB	令和 7 年 1 月 23 日
がんトータルケアセミナー ーがん患者さんの心臓を護るー がん治療における心血管毒性の管理 ーがん関連血栓症を中心にー	日総研	WEB	令和 7 年 2 月 4 日
腫瘍循環器 Web セミナー がん診療における腫瘍循環器外来の役割ー診療ガイドラインを中心にー	日本赤十字長崎原爆病院	WEB	令和 7 年 3 月 4 日
第 7 回 Onco-Cardiology Web Seminar. 晩期心血管合併症とがんサバイバーシップ	金沢医科大学循環器内科	WEB	令和 7 年 3 月 13 日
Transition CCS seminar in AYA week がんサバイバーにおける晩期合併症	一般社団法人 AYA がん と医療の支援のあり方 研究会	WEB	令和 7 年 3 月 18 日
Prostate Cancer Web Seminar. 前立腺癌薬物療法における心血管リスクマネジメント	フェリング・ファーマ社	WEB	令和 7 年 3 月 26 日

《濱田 未佳 乳腺検診部長》

講 演 ・ 研 修 等 内 容	主 催 者	会 場	開 催 日
乳がんのことを知ろう	泉大津市	泉大津市 保健センター	令和7年 3月3日

《三浦 一利 放射線技師室長》

講 演 ・ 研 修 等 内 容	主 催 者	会 場	開 催 日
基準撮影法の精度向上を図るために必要なこと	大阪消化管撮影技術研究会	WE B	令和6年 4月6日
胃症例検討会（症例提示・解説）	大阪消化管撮影技術研究会	WE B	令和6年 6月1日
バリウム付着を良くするための工夫～胃下部を中心に～	大阪消化管撮影技術研究会	大阪がん循環器病 予防センター WE B（ハイブリット）	令和6年 9月7日
基準撮影法の基本的な考え方	河内長野市保健センター	河内長野市 保健センター	令和6年 10月24日
胃症例検討会（症例提示・解説）	大阪消化管撮影技術研究会	WE B	令和7年 2月1日

《蓮尾 智之 放射線技師室副主査》

講 演 ・ 研 修 等 内 容	主 催 者	会 場	開 催 日
胃X線像における胃形に影響を与える背景要因の検討	大阪消化管撮影技術研究会	WE B	令和6年 8月3日

《池宮城 賀恵子 調査室長》

講 演 ・ 研 修 等 内 容	主 催 者	会 場	開 催 日
大阪府がん検診の方針と池田市の現状	池田市	池田市保健福祉 総合センター	令和7年 3月14日

《政岡 望 調査室副主査》

講 演 ・ 研 修 等 内 容	主 催 者	会 場	開 催 日
乳がん検診における情報提供	貝塚市	WE B	令和7年 1月30日

6 その他

パンフレットの作成と配布

当センターの事業内容の紹介とがんの知識の啓発普及を図るために、当センターで作成したパンフレット類を希望する市町村や職域団体などに配布している。また、大阪府が発行しているパンフレットに当センター職員医師が委員として作成に携わっている。

V 受診者満足度調査

1 概 要

大阪がん循環器病予防センターでは、平成21年度から、受診者を対象としてアンケート方式による受診者満足度調査を実施してきた。

アンケートは施設と検診車で受診者、それぞれ500人を目処に自己記入方式により実施してきたが、平成29年度からは施設、検診車隔年ごとに実施することにした。

令和6年度の実施期間及び回答者数は次のとおりである。

・車検診 10月1日から10月18日まで 596人

(1) 年齢

「70歳代」が41.6%と最も多く、次いで「60歳代」28.9%、「50歳代」19.1%の順であった。

(2) 性別

「女性」67.0%、「男性」33.0%の割合で、女性の比率が高かった。

(3) 受診項目

「胃がん検診」29.2%、「肺がん検診」26.9%、「大腸がん検診」25.2%、「乳がん検診」10.4%、「子宮がん検診」8.3%、の割合であった。

(4) 受診した理由（複数回答）

「毎年受診している」が50.3%、次いで「対応が良い」が10.5%、「ホームページをみて」が9.0%、「家族・知人の勧め」が8.0%の順になっている。

(5) 健診（検診）スタッフの言動・態度

「満足」86.2%、「ほぼ満足」5.7%で併せて91.9%を占めている。（表22）

(6) 診察、健診（検診）等の説明

「満足」86.8%「ほぼ満足」7.6%で併せて94.4%を占めている。

（表23）

(7) 健診（検診）時間

「早く受診できた」65.8%、「普通」28.4%、「時間がかかった」5.9%となっている。

(8) 次回も当センターを受診したいと思うか

「はい」と回答した受診者が88.8%、「いいえ」9.7%となっており、ほとんどの受診者が次回も当センターで受診したいと思っている。

(9) センターに対する要望、改善点について

自由記載による当センターに対する要望や改善点についての質問では、全体で70件の意見があり、その内「感謝や満足、励まし」が47件で最も多く、全体の67.1%であった。

次いで「検診項目・設備・施設」に関する意見が多く6件8.6%であった。

表22 検診スタッフの言動・態度に対する満足度

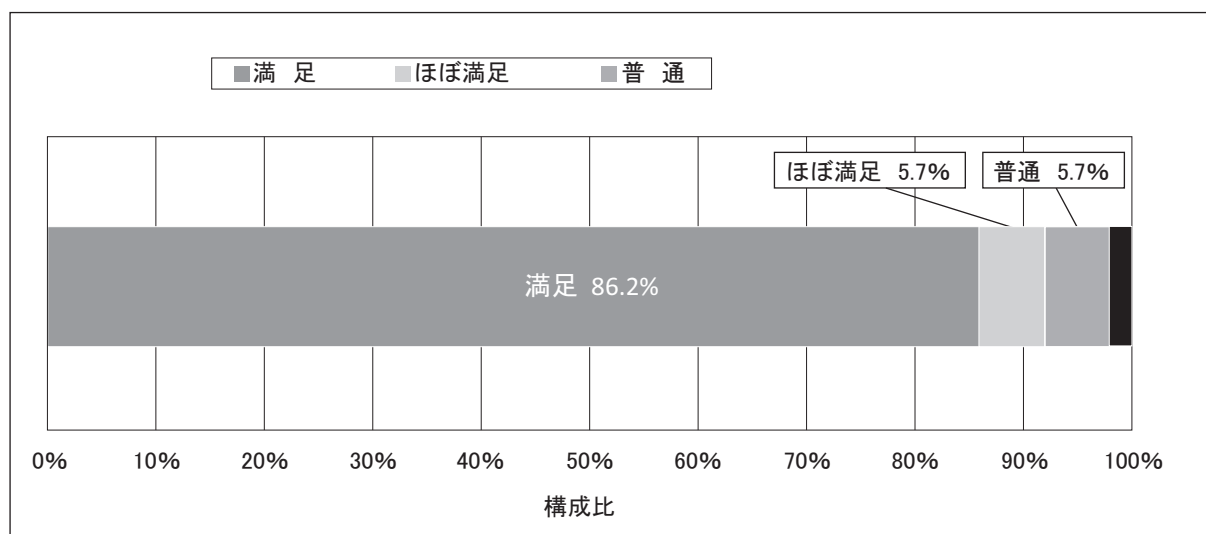
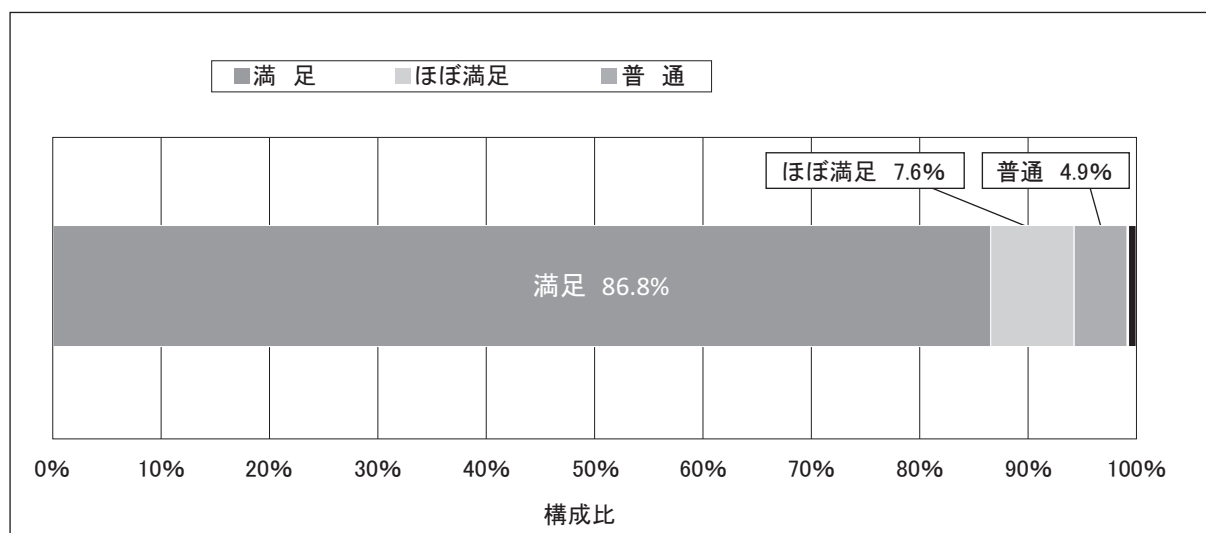


表23 診察、健診等の十分な説明に対する満足度



2 アンケート結果についての対応

本アンケートの結果を各所属に配布し、アンケートに寄せられた要望や改善点等の対応について、意見の提出を求めた。各所属では、まとめた意見をもとに順次改善のための対応を行うなど、アンケート結果を踏まえ、できるだけ多くの受診者の方に満足していただけるよう、今後ともセンター全職員「おもてなし」の心で対応させていただきたい。

VI 研究及び研究支援

1 概 要

当センターでは、日常の検診業務、広報活動の他、国などの機関からの研究助成を受けて、がん及び循環器病の予防に向けた研究活動を行っている。職員は、専門領域での新技術の開発研究や検診の実態調査、疾患予防のための知識の普及活動にも取り組み、多くの関連学会・研究会の役員として活躍している。国など

の機関からの研究助成金、学会・研究会などの役員・委員、学会発表、学術講演、研究論文、著書などを以下に掲載する。

また、がん予防に関する研究やがん検診の普及活動などを行っている大阪府内の個人や団体を対象とした研究助成金の交付も行っている。

2 国などの研究班への参加

研 究 費 名	研 究 班 名	参 加 者
日本医療研究開発機構（AMED） 革新的がん医療実用化研究会開発事業（佐川班）	低線量 CT による肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究	伊 藤 壽 記 （研究分担者）
厚生労働科学研究費補助金 （がん対策推進総合研究事業）	小児・AYA 世代のがん経験者の健康アウトカムの改善および根治困難ながんと診断された AYA 世代の患者・家族の生活の質の向上に資する研究（23EA1017）	向 井 幹 夫 （研究分担者）
厚生労働科学研究費補助金 （がん対策推進総合研究事業）	小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究—サバイバーシップ向上を志向して（23EA1016）	向 井 幹 夫 （研究分担者）

3 各種役員・委員

【伊藤壽記 所長】

- ・日本組織移植学会 理事
- 同 評議員
- 同 規約委員会委員長
- ・日本臓器保存生物医学会 監事
- 同 評議員
- ・日本統合医療学会 理事長
- ・日本機能性食品医学会 理事
- ・大阪対がん協会 参与
- ・統合医療機能性食品国際学会（ICNIM） 会長

【田中幸子 顧問】

- ・日本人間ドック・予防医療学会 社員

【今村文生 副所長兼放射線検診部長兼

検診データ管理室長】

- ・大阪府がん対策推進委員会 委員
- ・大阪国際がんセンター倫理委員会 委員

【向井幹夫 副所長兼総合健診部長兼

循環器病検診部長兼保健指導室長】

- ・日本人間ドック・予防医療学会 社員
- 同 人間ドック画像検査判定マニュアル作成
小委員会心電図委員
- ・日本内科学会近畿地方会 評議員
- ・日本循環器学会近畿地方会 評議員
- ・日本老年医学会 代議員
- ・日本腫瘍循環器学会 理事
- 同 国内交流委員会 委員長
- 同 総務委員会 委員
- 同 保健委員会 委員
- ・日本高血圧学会
Onco-Hypertension Working 副委員長
- ・日本臨床生理学会 評議員
- ・日本臨床腫瘍学会
Onco-Cardiology ガイドライン外部評価委員
- ・日本成人病（生活習慣病）学会 評議員
- ・日本がんサポーターズケア学会
Onco-Cardiology ワーキンググループ委員
- ・日本血栓止血学会
同 学術推進委員会 委員
- 同 癌と血栓部会 委員
- ・一般社団法人 AYA がんと医療と支援のあり方研究会
同 調査研究委員会 委員長

【濱田未佳 乳腺検診部長】

- ・吹田市乳がん検診精度管理委員会 委員

【池宮城賀恵子 調査室長】

- ・日本消化器がん検診学会 検診従事者委員
- 同 近畿支部保健衛生研修委員会 委員長

【三浦一利 診療放射線技師室長】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 幹事
- 同 編集委員
- ・日本消化器画像診断情報研究会 世話人
- ・日本消化器がん検診学会
近畿支部放射線研修委員会 委員

【久保文裕 診療放射線技師室室長代理】

- ・日本消化器がん検診学会
近畿支部放射線研修委員会 委員

【稲葉有美江 診療放射線技師室副主査】

- ・日本消化器がん検診学会
近畿支部放射線研修委員会 委員

【前里美千代 診療放射線技師副主査】

- ・大阪府診療放射線技師会 広報部 広報委員

【末廣彬人 診療放射線技師副主査】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 編集委員

4 学会及び学術集会主催

1. 会 名： 日本血栓止血学会 世界血栓デー日本 市民公開講座2024大阪
会 期： 2025年3月9日
会 場： 大阪国際がんセンター
会長・委員等： 向井幹夫

5 学会発表及び学術講演

1. Our innovation in surgical procedures and its outcomes in pancreas transplantation
第36回日本肝胆膵外科学会総会；2024年6月 広島市
富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，土岐祐一郎，江口英利
2. 当院における切除可能膵癌に対する取り組みとその治療成績
第79回日本消化器外科学会総会；2024年7月 下関市
富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，土岐祐一郎，江口英利
3. 本邦の脳死膵臓移植医療の課題を脳死臓器提供に対する膵臓利用率から考える
第55回日本膵臓学会大会；2024年7月 宇都宮市
富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，剣持 敬，土岐祐一郎，江口英利
4. 再移植例における膵臓移植の手術手技の工夫
第60回日本移植学会総会；2024年9月 長崎市
富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，土岐祐一郎，江口英利
5. 機能的食品の臨床応用
第22回日本機能的食品医用学会；2024年12月 東京都
伊藤壽記
6. 日本の膵島移植の未来像～Professor Yoko Mullen Memorial Symposium～
第52回日本膵・膵島移植学会学術集会；2025年3月 大阪市
伊藤壽記
7. 当院における脳死膵臓移植後グラフト十二指腸穿孔の検討
第52回日本膵・膵島移植学会学術集会；2025年3月 大阪市
富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，長谷川慎一郎，山田大作，秋田裕史，野田剛広，高橋秀典，土岐祐一郎，江口英利
8. ベッセルシーリングシステムとインジゴカルミンを使用した脳死膵臓移植 Bench Surgery の手技とその効果の検討
第52回日本膵・膵島移植学会学術集会；2025年3月 大阪市
今村宏輝，富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，長谷川慎一郎，山田大作，秋田裕史，野田剛広，土岐祐一郎，江口英利

9. 教育講演 腫瘍循環器診療の最前線 -Onco-cardiology ガイドラインを活用する
第70回日本内科学会信越支部障害教育講演会；2024年6月 新潟県高田市
向井幹夫
10. 日本乳癌学会・日本腫瘍循環器学会合同シンポジウム：チームで取り組む乳癌患者の心機能保護
～乳癌治療医と循環器専門医が連携し、乳癌治療からあなたのハート（心臓）を守ります～
晩期心血管合併症とがんサバイバーシップを考える
第32回日本乳癌学会学術集会；2024年7月 仙台市
向井幹夫
11. JOCs 創設7年目の今、腫瘍医、循環器医、それぞれの意識は
～インターネットを用いた「余命期間と侵襲的循環器治療」に対するアンケート調査結果～
第7回日本腫瘍循環器学会学術集会；2024年8月 姫路市
志賀太郎，大倉裕二，草場 仁，向井幹夫
12. ランチョンセミナー6 泌尿器癌における腫瘍循環器連携. 腫瘍循環器の視点から見た前立腺癌薬物療法
における心血管イベントとそのマネジメント
第7回日本腫瘍循環器学会学術集会；2024年8月 姫路市
向井幹夫
13. シンポジウム がん治療関連高血圧とその管理. 腫瘍循環器領域における血管毒性 高血圧・血栓症
第7回日本腫瘍循環器学会学術集会；2024年8月 姫路市
向井幹夫
14. シンポジウム 「Onco-Hypertension におけるエビデンス構築の試み」
委員会企画：Onco-Hypertension ワーキング
第46回日本高血圧学会総会；2024年10月 福岡市
向井幹夫
15. アフタヌーンセミナー 前立腺癌治療における CVD マネジメント前立腺癌に対するアンドロゲン遮断療法
における心血管毒性とそのマネジメント
日本泌尿器腫瘍学会第10回学術集会；2024年10月 福岡市
向井幹夫
16. メディカルセミナー9 腫瘍循環器診療における薬剤師の役割と期待
第34回日本医療薬学会年会；2024年11月 千葉市
向井幹夫
17. モーニングセミナー がん関連血栓症のマネジメント. 腫瘍循環器ガイドラインから
第12回日本血栓止血学会教育セミナー；2024年11月 大阪市
向井幹夫
18. がん患者に合併する循環器疾患に対する治療適応において腫瘍医と循環器医の相違
日本臨床腫瘍学会・日本循環器学会・日本腫瘍循環器学会合同シンポジウム がん診療における循環器医
に相談するタイミングとその後のフォローアップ
第22回日本臨床腫瘍学会学術集会；2025年3月 神戸市
向井幹夫，志賀太郎，大倉裕二，草場 仁

19. **がんと血栓症 知って得する血栓のお話**
日本血栓止血学会 世界血栓デー日本 市民公開講座2024；2025年3月 大阪市
向井幹夫
20. **マンモグラフィ単独検診の比較読影とマンモグラフィ乳房超音波併用検診の検討**
第34回日本乳癌検診学会学術総会；2024年11月 群馬県高崎市
濱田未佳，荻田真子，相川隆夫，和田公子，池宮城賀恵子
21. **特別講演 超音波医学との半世紀**
日本超音波医学会 第51回関西地方会；2024年9月 大阪市
田中幸子
22. **シンポジウム がん経験者からの直言 “自身の専門領域のがんを体験して”**
日本がんチーム医療研究会 第35回研究集会；2025年3月 大阪市
田中幸子
23. **胃X線像における胃形に影響を与える背景要因の検討**
第63回日本消化器がん検診学会総会；2024年6月 名古屋市
蓮尾智之，三浦一利，久保文裕，池宮城光哉，山口健人，藤田陽蔵，稲葉有美江，前里美千代，末廣彬人，
西川 孝
24. **ガフクロミックフィルムLD-V1を用いた冠動脈CTにおける乳腺被ばくの実測**
第13回多次元線量計測学会総会；2025年3月 大阪市
蓮尾智之，五反田龍宏，赤川拓也，西原新之輔，松浦洸生
25. **主膵管径が検査中に変動する症例の検討**
日本超音波医学会 第51回関西地方会学術集会；2024年9月 大阪市
杉本安莉，中川智美，宮本美佳子，吉野千香，木山紀子，星山茂里，福田順子，高倉玲奈，橋本 勉，
田中幸子
26. **当センター職員検診における乳がん受診率の実態**
第34回日本乳癌検診学会学術総会；2024年11月 群馬県高崎市
浅井恵美子，長濱桂子，新堂智恵，清水里美，戸谷理恵子，松本雅子，對馬正美，山岸知子，岡 由紀子，
和田公子，濱田未佳

6 研究論文・著書

1. Delayed peak antibody titers after the second dose of SARS-CoV-2 vaccine in solid organ transplant recipients: prospective cohort study.
Vaccine. 2024 ; 42(23) : 126221
Unagami K, Yoshikawa M, Egawa H, Ohfuji S, Natori Y, Oki R, Mori T, Hattori H, Ishiwatari A, Kanzawa T, Shimizu T, Omoto K, Inui M, Masano Y, Ito T, Nakajima D, Babazono T, Takagi T, Nunoda S, Tomimaru Y, Imamura R, Miyagawa S, Toda K, Hatano E, Date H, Kyakuno M, Takahara S, Yuzawa K, Tanimine N, Ohdan H, Ishida H, Hirota Y, Japan Solid Organ Transplantation COVID-19 Countermeasure Group.
2. 脳死臓器移植後グラフト十二指腸出血に対して IVR にて止血・グラフト温存し得た1例
移植 2024 ; 59(3) : 291-295
田口 司, 富丸慶人, 小林省吾, 織田典明, 林 智之, 伊藤壽記, 佐々木一樹, 長谷川慎一郎, 岩上佳史, 山田大作, 秋田裕史, 野田剛広, 高橋秀典, 土岐祐一郎, 江口英利
3. 本邦臓器移植症例登録報告 (2024)
移植 2024 ; 59(3) : 251-257
富丸慶人, 伊藤壽記, 剣持 敬
4. 生体腎移植肥満ドナーに対する統合的な栄養介入の有効性：単群オープンラベル試験
日本病態栄養学会誌 2024 ; 27(4) : 309-317
安枝明日香, 坂本陽子, 後藤舞子, 萩原邦子, 前田和久, 角田洋一, 今村亮一, 野々村祝夫, 伊藤壽記
5. ヒトの進化がもたらした“光”と“影” ～人生100年時代を迎えて高齢者医療を考える
大阪大学外科学講座同窓会誌 (絆刀) 2024 ; (13) : 85-89
伊藤壽記
6. ヘルテル外科開講100周年記念誌 追補版 臓器移植～半世紀を振り返って 企画に当たって
汲泉 2024 : 9
伊藤壽記
7. ヘルテル外科開講100周年記念誌 追補版 臓器移植～半世紀を振り返って 臓移植
汲泉 2024 : 44-51
伊藤壽記
8. ヘルテル外科開講100周年記念誌 追補版 臓器移植～半世紀を振り返って 免疫寛容
汲泉 2024 : 79-84
伊藤壽記
9. Late-onset and relapsed cytokine release syndrome after nivolumab treatment in a patient with head and neck squamous cell carcinoma: a case report
Front Oncol 2025 ; 7(15) : 1508682
Tomoyuki Otsuka, Yoshiki Kojitani, Fumio Imamura, Junko Fukutake, Minako Nishio, Takashi Fujii, Toshihiro Kudo

10. VII 外来診療、がんサバイバーシップ. がんサバイバーの晩期心血管毒性
日本臨床 2024 ; 82 (2) : 423-428
向井幹夫
11. 5章血栓性疾患, 14がん関連血栓症の特徴
臨床に直結する血栓止血学会 改訂3版 2024 : 501-506
向井幹夫
12. 長期フォローアップガイドラインの成人医療での運用課題の抽出 「小児・AYA世代がん患者の成人移行ならびに長期フォローアップにおける マネジメントと診療ガイドラインの実態」
令和5年度厚生労働省科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業） 小児・AYA 世代のがん経験者の健康アウトカムの改善および根治困難ながんと診断された AYA 世代の患者・家族の生活の質の向上に資する研究（23EA1017） 総括研究報告書 （202307026Z） 2024 : 26-28
向井幹夫, 志賀太郎
13. 前立腺癌のホルモン療法による副作用マネジメント-前立腺癌の診療のコツ-
ESPOIR 2024 ; 7 : 32-35
向井幹夫
14. Efficacy and Safety of Non-vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants for Japanese Patients with Venous Thromboembolism: The Results from the KUROSION Study.
Circ J 2024 ; 88(10) : 1672-1678
Yamada N, Tamaru S, Akamatsu D, Tsujita K, Masato Nakamura M, Watanabe A, Yuzaki M, Nishimura Y, Ogura T, Yamamoto T, Satokawa H, Toru Obayashi T, Nakamura M; on behalf of KUROSION Study Investigators (include of Mukai M)
15. II章がん・脳卒中医療の進歩と腫瘍脳卒中学. がん患者における生活習慣病管理（高血圧・糖尿病・脂質異常症）
腫瘍脳卒中学. Stroke Oncology 研究会監修, 編集 塩川芳昭, 平野照之, 高野 利 2025 : 67-73
向井幹夫
16. がん治療関連心機能障害 免疫関連有害事象としての心筋炎
臨床と研究 2025 ; 102(3) : 265-270
向井幹夫

7 受賞及び表彰

1. ガフクロミックフィルム LD-V1を用いた冠動脈 CT における乳腺被ばくの実測
優秀演題賞
第13回多次元線量計測学会総会 ; 2025年3月1日
蓮尾智之, 五反田龍宏, 赤川拓也, 西原新之輔, 松浦洸生

8 大阪がん予防対策基金

当センターでは、がん予防に関する研究・研修・啓発の促進を目的に、各界各層からのご寄附・浄財により「大阪がん予防対策基金」を設けている。

令和6年度寄附金額は、41,151円で設立当初よりのご寄附額は累計で204,525,567円となっている。この基金による事業の一環として、がん予防対策基金研究助成金制度を設け、医療従事者等のがん関連の調査研究に対して助成を行っているが、6年度事業として2件の研究に助成を行った。

(1) 大阪がん予防対策基金寄附状況

令和5年度対策基金寄附内訳

・10万円以上	0件	0円
・10万円未満	2件	41,151円
6年度寄附金合計		41,151円
設立当初よりの寄附金累計額		204,525,567円

(2) 大阪がん予防対策基金研究助成

＜受贈者＞ 大阪国際がんセンター がん対策センター
岩城 洋子

＜研究内容＞ 自然言語処理を用いた我が国の子宮頸がん検診研究の動向分析 ～国際比較を通して～

＜受贈者＞ 大阪がん循環器病予防センター 消化管撮影班
代表：蓮尾 智之

＜研究内容＞ とろみ調整食品を混合した硫酸バリウムが胃の粘膜描出能に与える影響
—胃部ファントムを用いた粘膜描出能の評価—

(3) 大阪がん予防対策基金研究助成交付者一覧表

年度	交付者名（団体・代表者名）	研究課題
昭和62年度	大阪府医師会臨床検査センター	肺癌集団検診のための集細胞喀痰細胞診の開発
	大阪がん予防検診センター	がんの一次予防のための新しい健康教育システムの開発
	大阪がん予防検診センター 河島 輝明	胃がんの進展速度に関する研究
昭和63年度	大東保健所 柳 尚夫	がんを中心とした成人病の一次予防のための健康教育の地域での実践的研究
	八尾保健所 伊藤 裕康	保健所におけるがん死亡データの活用方法の開発
	吹田市立保健センター	特定年齢(40歳・50歳)を対象とした総合健康診査の実施

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
昭和63年度	美原町健康推進室 石澤 靖子	美原町における包括的・効果的がん予防活動のあり方
	城東区医師会	医師会としての大腸がん集団検診への積極的取り組み
	藤井寺市医師会	集団検診における悪性腫瘍の発見及び頻度
	大阪市保健指導研究会	乳がん自己検診法の指導の評価
	がん予防研究会	肺がん予防のための禁煙教室の開催
	大阪がん予防検診センター 検査部	細胞診による子宮体癌検診のための新しい内膜細胞採取器具の開発
	大阪がん予防検診センター 内視鏡検診部 岡野 彌高	胃がん検診における内視鏡第1次精検の新しい試み
平成1年度	枚方保健所	生活習慣における発がんのリスクファクターについて
	大阪府母子保健総合医療センター	乳児神経芽腫スクリーニングにおける要精検カットオフ値の検討と設定
	門真市役所	乳がん検診における自己検診法の普及について
	箕面市医療保健センター	箕面市における各種がん検診評価に関する研究
	近畿大学医学部 第一外科	乳癌集団検診でのマンモグラフィと超音波の有用性の比較検討
	大阪市環境保健局保健部 保健管理課	胃部X線集団検診における方向表示器の活用について
	大阪市環境保健局 健康指導課	超音波検診による乳がん集団検診について
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	子宮体癌診断精度向上に関する研究
	大阪がん予防検診センター 看護婦グループ	胃がん検診要精検者に対する内視鏡のオリエンテーションVTR作成とその活用効果について
	大阪がん予防検診センター 診療放射線グループ	レントゲン検診部門管理システムのネットワーク化について
平成2年度	柏原中小企業健康問題研究会	中小企業における禁煙、肥満教育
	寝屋川保健所 堀毛 輝江	禁煙・飲酒に関する地域健康教育ネットワークシステムの研究 —酒害対策の発展を踏まえて—
	東大阪市保健衛生部	乳がん予防のための健康教育のあり方
	寝屋川市学校保健教育研究会	寝屋川市における小中学生の喫煙状況の実態調査と喫煙防止の指導のあり方の研究
	大阪市住之江区医師会	住之江区における大腸がん集団検診
	岸和田徳州会病院 消化器内科	大腸癌の早期発見及び内視鏡的治療
	大阪市保健衛生検査所	集団検診による神経芽細胞腫の特性と疫学的事項に関する研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成２年度	大阪がん予防検診センター 三 木 信 夫	消化器総合検診（胃・大腸同時集検）の検討
	大阪がん予防検診センター 宮本真由美	集検発見胃がん患者の予後の分析
	大阪がん予防検診センター 田 路 英 作	子宮頸部上皮細胞のＨＰＶ（Human Papilloma Virus）感染様式の検討とその臨床応用に関する研究
	大阪がん予防検診センター 布 引 治	子宮体癌スクリーニングに適した新しい標本作製方法の試み
平成３年度	古妻クリニック 古 妻 嘉 一	関西新空港による生活環境の変化に基づく乳がんの一次予防に関する研究
	近畿大学医学部 光 林 茂	ポリメラーゼαによる膀胱腫瘍増殖能の検討
	大阪府立公衆衛生研究所 中 村 清 一	環境変異原を不活性化する生体成分について
	大阪府立公衆衛生研究所 原 嘉 宏	子宮頸癌の危険因子に関する研究
	大阪市交通局 健康管理室	がん検診による早期発見の可能性と限界について
	大阪市保健指導研究会	子宮がん（頸部）検診でがんと診断された者の受診態様からみた検診の有り方について
	大阪がん予防検診センター 綿 谷 正 弘	乳癌一次検診へのマンモグラフィの導入―肥満女性に対するマンモグラフィの検討から―
	大阪がん予防検診センター 山 本 倫 子	ＨＰＶ感染の指標となる細胞診パターンの確認
	大阪がん予防検診センター 検査部	Papanicolaou 染色標本における細胞移動の試み
	大阪がん予防検診センター 桑 野 忠 雄	胃集検におけるＸ線照射線量低減のための体側フィルタの製作
	大阪がん予防検診センター 安 達 正 子	乳房自己検診法（ＢＳＥ）指導方法についての検討
	大阪がん予防検診センター 横 溝 美 穂	妊婦とその家族を対象とした禁煙指導の有効性評価に関する研究
平成４年度	大阪中央病院産婦人科 前 田 隆 義	子宮頸部初期癌及び前癌病変に対する検診法として Contact Laser Conization の臨床的意義
	泉佐野保健所	受動喫煙の灰中ニコチンによる定量的評価と禁煙・分煙
	八尾保健所	胸部間接撮影における描出能と有用性の検討
	岸和田保健所	トータルヘルスをめざした健康教育の有効に関する研究―保健所を中心にして―
	大阪市保健衛生検査所	乳癌集団検診で使用している水浸式超音波診断装置（オクトゾン方式）の撮影条件の検討
	大阪がん予防検診センター 検診第２部	新しい自己細胞採取器具（マイハップ）による子宮頸部細胞診臨床試験
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部ヒト乳頭腫ウィルス感染症の Follow up について
	大阪がん予防検診センター 山 本 兼 右	当センターにおけるパソコン利用の一考察―がん患者画像データベース―

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成4年度	大阪がん予防検診センター 大森美恵子	大腸がん精密検査における不安及び緊張の緩和に関する研究
	大阪がん予防検診センター 遠藤幸子	がん検診情報システムの更新にあたっての取り組み
平成5年度	北摂病院 御前治	妊婦における細胞診の必要性和その要精検妊婦の管理
	吹田市医師会がん検診部会	乳がん個別検診のデータ解析による成績評価と今後の展望
	堺市宿院保健所 淵 勲	がん予防・健康講座の実践
	池田保健所	地域・職域における効果的な禁煙指導法の開発・普及のための研究
	吹田保健所	大腸がん検診における精密検査実施状況及び実施体制の実態調査
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	細胞診における新しい判定方法“ベセスダシステム”についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸がん検診精度管理に関する研究(細胞診誤陰性例のチェック方法とその再検診)
	大阪がん予防検診センター 中川智美	便潜血検査判定による大腸がん検診の精度
	大阪がん予防検診センター 矢竹秀稔	胃集検用硫酸バリウム製剤(145W/V ゾル)の総合的評価についての研究
	大阪がん予防検診センター 田端和代	子宮がん精密検査受診率向上についての検討
平成6年度	堺市医師会呼吸器疾患談話会	F C Rを用いた肺癌早期発見の研究
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	泉佐野市保健センター	泉佐野市における胃がん検診 —計画検診の3年間のまとめ—
	八尾保健所	肺がんの発生と呼吸器疾患既往歴との関連
	大阪市環境保健協会	発見大腸がん患者等についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部における接着分子(カドヘリン)の発現と組織—細胞所見
	大阪がん予防検診センター 牧本和代	大腸がん検診における精検方法の改良に関する研究—主として前処置について—
平成7年度	石切生喜病院 山片重房	乳がん・子宮がん複合検診の効用と効果
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	豊中保健所 森定一稔	豊中市におけるがん死亡の地域特性について
	熊取町大腸がん検診研究グループ	健康教室・住民説明会を併用した大腸がん検診の精度
	胃集団検診研究会	胃集検用高濃度バリウムの有用性について

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成 8 年度	旭区医師会肝臓検診グループ	効率の良い肝臓検診の確立
	大阪がん予防検診センター 濱田紘一郎	子宮頸部腺系初期癌および前癌病変の早期診断・治療・管理に関する研究
	大阪がん予防検診センター 前 田 喜 徳	がんに関する検診の調査研究
平成 9 年度	禁煙サポートグループ	成人病専門施設で働く看護婦の禁煙指導の現状と課題
	本 多 正 治	免疫学的便潜血検査法によって発見された大腸癌の解析と効果的な検診方法の検討
	大阪市婦人科腫瘍研究グループ	頸部擦過細胞診を用いた PCR 法による HPV - DNA 検出法とタイピング法の有用性の検討
平成10年度	谷 口 定 之	子宮頸がん検診に関する臨床的研究
	府立羽曳野病院 第 2 内科	小細胞肺癌患者の長期生存例における第2癌の発生ならびに晩発性再発についての因子解析
平成11年度	旭区医師会肝臓検診グループ	「効率の良い肝臓検診の確立」肝臓早期発見のため検診対象者の設定、検診方法、検診間隔の設定
	肝疾患対策研究グループ	地域における肝がん予防対策推進に関する研究
平成12年度	関西労働保険協会	腹部(肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓)超音波検診の精度
	府立羽曳野病院 外科	喫煙係数からみた肺癌手術予後
平成13年度	大阪鉄道病院 保健管理部消化器科	職員検診を活用した肝細胞癌の予防・早期発見システムの構築
平成15年度	大阪がん予防検診センター 岡 野 彌 高	検診機関におけるヘリコバクターピロリ菌陽性潰瘍例の除菌療法の評価と追跡調査の検討
	大阪府立成人病センター 福島良志幸	
平成16年度	枚方市立枚方市民病院 外科	乳癌の早期発見(マンモグラフィの有用性の検討)
平成17年度	堺市医師会乳がん検診	マンモグラフィ併用乳がん検診の有用性について
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山 本 兼 右	胃がん集団検診における高濃度低粘性硫酸バリウム粉末製剤のm A s 値の評価
平成18年度	枚方市妊産婦への禁煙支援グループ	妊婦禁煙と出産後の禁煙継続のための支援プログラム
	貝塚市健康づくり推進委員会	各校区毎の健康教室の開催や、大腸がん検診のスティック配布によりがん予防に対する知識を地域に広め、がん検診受診率の向上に寄与する
	大阪がん予防検診センター 婦人科検診部 植 田 政 嗣	婦人科癌における遺伝子多型解析

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成19年度	大阪がん予防検診センター 乳腺検診部 森 田 眞 照	乳癌マンモグラフィ検診の普及と精度向上を目指して
	大阪がん予防検診センター 臨床検査室 田 路 英 作	HPV検査(HC - 2)法におけるハイリスク陽性症例の子宮頸部細胞診所見
平成20年度	大東市 健康いきがい課 足 立 安 正	肺がん検診が禁煙指導に及ぼす影響
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山 本 兼 右	胃がん検診における高濃度と中濃度硫酸バリウム製剤のX線被曝線量評価に関する研究
平成22年度	大阪府四条畷保健所 企画調整課 山 口 和 子	未成年者に対する喫煙防止教育の充実
	府中病院 消化器内科 廣 岡 大 司	泉州地域における大腸がん検診の受診率・精検受診率の向上に向けた活動
	大阪がん予防検診センター 乳がん検診看護チーム 浅井恵美子	大阪府の乳がん検診受診率の向上を目指した、地域ボランティアシステムの構築
平成23年度	泉大津市立保健センター 鈴 木 友 子	子育て世代に対する子宮がん予防の効果的な啓発について
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 田 淵 貴 大	医療保険等の社会的背景に基づくがん検診受診率格差の実証的研究
	市立貝塚病院 乳がん高度検診・治療センター 山口美保子	外来看護師の積極的介入による若年者への乳がんの検診受診の啓発
平成24年度	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 伊 藤 ゆ り	大阪府における市町村がん検診の検診精度管理指標に関する分析
	生長会府中大腸がん検診研究会 廣 岡 大 司	泉州地域における大腸がん検診の普及に向けた住民講座などの啓発活動
平成25年度	田附興風会医学研究所北野病院 八隅秀二郎	地域ぐるみの連携システムの構築
	PANDRA PROJECT 井 岡 達 也	膵癌早期診断を目指した適正な検診間隔を検討するための研究
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 井岡亜希子	神経芽細胞腫マスマスクリーニング中止による影響評価に関する研究
平成26年度	医療法人橘会東住吉森本病院 地域医療連携センター 地域がん対策チーム 田 中 宏	院内がん登録を基礎とした当地区における癌の特徴分析と効果的な予防啓発活動に関する研究
	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山 本 兼 右	注腸X線検査における受診者の被ばく線量(実効線量)の算出と生涯がん死亡リスクの推定
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科検診部 植 田 政 嗣	ベセスダシステム異型腺細胞の臨床病理学的背景ならびにHPV感染に関する研究
平成27年度	和泉市医師会「胃がんリスク検査」研究会 廣 岡 大 司	H. pylori 血清抗体(以下HP抗体)とPG検査で行う「胃がんリスク検査」の確立, 胃がん予防, 診断, その成果・問題点についての検討

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成27年度	大阪府立成人病センターがん予防情報センター 森 島 敏 隆	喫煙習慣が肺がん患者の生存期間に及ぼす影響
平成28年度	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山 本 兼 右	胃がんX線検診における受診者の被ばく線量の算出 －Flat Panel Detector (FPD) デジタル撮影－
平成29年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 佐 藤 亮	がんサバイバーに対するがん検診の意義に関する研究
	ダイハツ保健センター	職域における疾病早期発見対策として導入した甲状腺エコー検査の実績と、その評価
平成30年度	市立豊中病院 消化器外科 富 丸 慶 人	十二指腸乳頭癌における他臓器重複癌の調査および十二指腸乳頭癌早期発見プロジェクトの開発
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	病理医だけが知っている肺癌と喫煙の関係
令和 1 年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	喫煙 DNA メチル化異常を介した肺がん発生の免疫組織学的研究
	大阪がん循環器病予防センター 看護室 受診支援グループ 代表：浅井恵美子	がん検診の受診支援につながる情報提供とその評価
令和 2 年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター肝胆膵内科膵検査室 池 澤 賢 治	膵がんの早期発見向上を目指した新規膵検診プランの有効性
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重 夫	大阪府における HTLV1 感染の実態把握の為の調査研究
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科細胞診断部 代表：呉 美優貴	閉経後の要精検者に対する p16 免疫組織化学染色の有効性
令和 3 年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR 科品質管理グループ 代表：川真田 実	二次発がん予防に向けたがん診療の放射線被ばく線量の実態調査
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター がん対策センター 小山史穂子	口腔がん患者における飲酒習慣と10年生存率との関連
	大阪がん循環器病予防センター 消化管撮影班 代表：蓮 尾 智 之	胃 X 線がん検診におけるがん検出能の精度評価－対策型検診撮影法と任意型検診撮影法－
令和 4 年度	市立豊中病院 代表：松 本 健 吾	膵臓癌患者における膵癌早期診断のためのスコアリングシステムの有用性評価とバイオマーカーを探索する単施設前方・後方視観察研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
令和4年度	大阪がん循環器病予防センター 乳腺検診部 代表：濱田 未佳	当センターでの発見癌症例からブレスト・アウェアネスの意義と普及により死亡率の減少につなげる
令和5年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター がん対策センター 栗原 佳宏	検診等によるがん発見が生存率に及ぼす影響 ：年齢階級別および保険種別での検討
	大阪がん循環器病予防センター 消化管撮影班 代表：蓮尾 智之	胃X線像における胃形（鉤状胃と非鉤状胃） の背景要因の検討
令和6年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター がん対策センター 岩城 洋子	自然言語処理を用いた我が国の子宮頸がん検 診研究の動向分析 ～国際比較を通して～
	大阪がん循環器病予防センター 消化管撮影班 代表：蓮尾 智之	とろみ調整食品を混合した硫酸バリウムが胃の 粘膜描出能に与える影響 ―胃部ファントム を用いた粘膜描出能の評価―

資 料 編

VII がん検診結果集計資料

1－(1) 胃がん検診実績表（施設検診・車検診号車別）

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
1号	検診数	110	443	496	325	75	201	511	620	308	200	210	3729
	検診回数	3	14	14	10	2	7	15	19	8	7	6	113
2号	検診数	0	427	805	775	203	609	845	505	609	617	585	6438
	検診回数	0	16	23	24	7	21	28	12	21	17	17	200
8号	検診数	90	469	472	253	53	272	515	534	325	147	198	3405
	検診回数	5	15	14	9	2	10	16	16	12	5	7	114
車合計	検診数	200	1339	1773	1353	331	1082	1871	1659	1242	964	993	13572
	検診回数	8	45	51	43	11	38	59	47	41	29	30	427
施設計	検診数	535	808	895	1110	1067	1278	1463	1302	1041	991	980	12518
	検診回数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	18	18	242
総合計	検診数	735	2147	2668	2463	1398	2360	3334	2961	2283	1955	1973	26090
	検診回数	29	66	71	65	32	57	81	67	61	47	48	669

1ー (2) 胃がん検診結果集計表

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

X線	受診数	要精検率		精検受診率 (%)	精検結果						がん症例の治療			39才以下 の割合	
		要精検	(%)		胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍癒痕	その他	異常なし	治癒切除	非治癒切除		その他
地域合計	14846	812	5.5	90.1	17	14	119	11	31	508	46	17	0	0	0.3
(27 市町村)															
職域合計	7174	177	2.5	83.6	2	2	18	1	6	102	19	2	0	0	17.6
(118 団体)															
検診友の会等合計	195	9	4.6	100.0	0	0	2	0	1	6	0	0	0	0	12.8
X線合計	22215	998	4.5	89.1	19	16	139	12	38	616	65	19	0	0	6.4
(1度目の読影で要精検)		656		89.3	18	15	92	10	25	404	37	18	0	0	0.5
(2度目の読影で要精検)		342		88.6	1	1	47	2	13	212	28	1	0	0	8.8

内視鏡	受診数	要精検 (%)	精検率 (%)	精検受診率 (%)	精検結果					がん症例の治療			39才以下 の割合			
					胃がん (うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍瘢痕	その他	異常なし	治癒切除	非治癒切除		その他	不明	
内視鏡合計	3875	206	5.3	202	98.1	10	8	7	0	1	183	1	10	0	0	5.4

総合計	26090	1204	4.6	109.1	29	24	146	12	39	799	66	29	0	0	6.2
-----	-------	------	-----	-------	----	----	-----	----	----	-----	----	----	---	---	-----

1－(3) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [地域]

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級 【男】	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	精検結果							
										胃がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	良性隆起	潰瘍	その他	異常なし
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
30～34	16	0.2	14	1	1	1	6.3	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
35～39	28	0.4	20	6	2	1	3.6	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
40～44	304	4.6	204	65	35	17	5.6	12	70.6	0	0.00	0	0.00	1	0	11	0
45～49	379	5.7	155	140	84	24	6.3	18	75.0	0	0.00	0	0.00	1	1	15	1
50～54	579	8.8	162	265	152	33	5.7	29	87.9	0	0.00	0	0.00	6	1	18	4
55～59	590	8.9	176	253	161	41	6.9	37	90.2	0	0.00	0	0.00	5	0	30	2
60～64	812	12.3	219	415	178	55	6.8	46	83.6	0	0.00	0	0.00	7	0	35	4
65～69	1288	19.5	376	624	288	76	5.9	70	92.1	2	0.16	2	0.16	13	3	52	0
70～74	1252	19.0	180	789	283	105	8.4	95	90.5	5	0.40	4	0.32	14	2	66	8
75～79	857	13.0	65	567	225	88	10.3	86	97.7	3	0.35	3	0.35	12	0	65	6
80～84	389	5.9	21	389	98	29	7.5	28	96.6	3	0.77	3	0.77	7	0	18	0
85～	110	1.7	4	72	34	11	10.0	11	100.0	0	0.00	0	0.00	2	1	7	1
計	6604	100.0	1596	3467	1541	481	7.3	433	90.0	13	0.20	12	0.18	68	8	317	27
【女】																	
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
30～34	22	0.2	20	1	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
35～39	59	0.6	50	4	5	1	1.7	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	0
40～44	577	6.2	352	144	81	18	3.1	17	94.4	0	0.00	0	0.00	1	0	16	0
45～49	707	7.6	208	260	239	21	3.0	19	90.5	0	0.00	0	0.00	5	0	15	3
50～54	1133	12.2	264	491	378	39	3.4	34	87.2	1	0.09	1	0.09	7	0	27	1
55～59	1202	12.9	257	537	408	40	3.3	37	92.5	0	0.00	0	0.00	10	1	29	1
60～64	1359	14.6	245	680	434	58	4.3	54	93.1	1	0.07	0	0.00	13	0	36	6
65～69	1568	16.9	337	765	466	84	5.4	75	89.3	3	0.19	2	0.13	11	2	57	2
70～74	1374	14.8	152	803	419	62	4.5	57	91.9	3	0.22	3	0.22	6	0	39	2
75～79	894	9.6	60	531	303	48	5.4	45	93.8	0	0.00	0	0.00	4	0	35	4
80～84	335	3.6	13	335	121	21	6.3	20	95.2	0	0.00	0	0.00	1	0	16	0
85～	66	0.7	1	42	23	7	10.6	7	100.0	1	1.52	1	1.52	1	0	5	0
計	9296	100.0	1959	4459	2878	399	4.3	366	91.7	9	0.10	7	0.08	59	3	276	19

1－(4) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [職域]

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精検結果							
										胃がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	良性隆起	潰瘍	その他	異常なし
【 男 】																	
～29	87	1.4	57	30	0	2	2.3	2	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	2	0
30～34	205	3.4	91	98	16	10	4.9	9	90.0	0	0.00	0	0.00	0	0	9	0
35～39	540	8.9	195	288	57	20	3.7	16	80.0	0	0.00	0	0.00	0	0	13	3
40～44	701	11.5	161	454	86	20	2.9	18	90.0	0	0.00	0	0.00	0	0	14	4
45～49	916	15.1	139	653	124	24	2.6	21	87.5	0	0.00	0	0.00	6	0	14	1
50～54	1166	19.2	124	864	178	31	2.7	29	93.5	0	0.00	0	0.00	2	0	24	3
55～59	1122	18.4	104	852	166	40	3.6	38	95.0	1	0.09	1	0.09	3	0	32	2
60～64	782	12.8	73	603	106	42	5.4	37	88.1	3	0.38	2	0.26	4	1	28	1
65～69	387	6.4	55	263	69	23	5.9	21	91.3	1	0.26	1	0.26	2	0	18	0
70～74	146	2.4	21	103	22	5	3.4	4	80.0	0	0.00	0	0.00	1	0	3	0
75～79	26	0.4	4	16	6	5	19.2	5	100.0	2	7.69	1	3.85	0	0	3	0
80～84	6	0.1	1	4	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
85～	2	0.0	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
計	6086	100.0	1025	4230	831	222	3.6	200	90.1	7	0.12	5		18	1	160	14
【 女 】																	
～29	141	3.8	103	28	10	3	2.1	3	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	2	1
30～34	147	3.9	81	56	10	3	2.0	3	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	2	1
35～39	346	9.3	146	168	32	7	2.0	6	85.7	0	0.00	0	0.00	1	0	4	1
40～44	455	12.2	136	239	80	6	1.3	6	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	4	1
45～49	559	15.0	116	350	93	8	1.4	8	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	7	1
50～54	699	18.7	113	461	125	15	2.1	12	80.0	0	0.00	0	0.00	2	0	10	0
55～59	704	18.9	86	490	128	15	2.1	13	86.7	0	0.00	0	0.00	1	0	11	1
60～64	426	11.4	58	304	64	14	3.3	14	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	14	0
65～69	192	5.1	37	121	34	9	4.7	7	77.8	0	0.00	0	0.00	2	0	5	0
70～74	46	1.2	6	35	5	3	6.5	1	33.3	0	0.00	0	0.00	1	0	0	0
75～79	14	0.4	2	6	6	1	7.1	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	0
80～84	1	0.0	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
85～	1	0.0	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
計	3731	100.0	884	2260	587	84	2.3	74	88.1	0	0.00	0	0.00	8	0	60	6

1－(5) 胃がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔検診友の会等〕

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	精検結果				
										胃がん 率 (%)	うち早期がん 率 (%)	良性隆起	潰瘍	その他 異常なし
【 男 】														
～29	8	3.8	2	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
30～34	7	3.4	5	2	0	1	14.3	1	100.0	0	0	0	0	0
35～39	7	3.4	0	5	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
40～44	20	9.6	9	8	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
45～49	23	11.1	3	15	5	3	13.0	3	100.0	0	0	0	0	3
50～54	24	11.5	2	20	2	1	4.2	1	100.0	0	0	0	0	1
55～59	10	4.8	2	6	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
60～64	20	9.6	3	12	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
65～69	18	8.7	2	11	5	1	5.6	1	100.0	0	0	0	0	1
70～74	12	5.8	1	8	3	1	8.3	1	100.0	0	0	0	0	1
75～79	35	16.8	1	24	10	3	8.6	3	100.0	0	0	0	0	3
80～84	21	10.1	2	16	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
85～	3	1.4	0	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
計	208	100.0	32	136	40	10	4.8	10	100.0	0	0	0	0	10
【 女 】														
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
30～34	3	1.8	3	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
35～39	6	3.6	5	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
40～44	24	14.5	6	14	4	1	4.2	1	100.0	0	0	1	0	0
45～49	24	14.5	5	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
50～54	13	7.9	2	8	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
55～59	11	6.7	2	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
60～64	13	7.9	3	8	2	3	23.1	3	100.0	0	0	0	0	3
65～69	11	6.7	3	8	0	0	0.0	0	100.0	0	0	0	0	0
70～74	8	4.8	0	4	4	2	25.0	2	100.0	0	0	1	0	1
75～79	39	23.6	4	31	4	2	5.1	2	100.0	0	0	0	0	2
80～84	13	7.9	0	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
85～	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
計	165	100.0	33	100	32	8	4.8	8	100.0	0	0	2	0	6

1－(6) 胃がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔総合計〕

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	精検結果							
										胃がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	良性隆起	潰瘍	その他	異常なし
【 男 】																	
～29	95	0.7	59	36	0	2	2.1	2	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	2	0
30～34	228	1.8	110	101	17	12	5.3	10	83.3	0	0.00	0	0.00	0	0	10	0
35～39	575	4.5	215	299	61	21	3.7	17	81.0	0	0.00	0	0.00	0	0	13	4
40～44	1025	7.9	374	527	124	37	3.6	30	81.1	0	0.00	0	0.00	1	0	25	4
45～49	1318	10.2	297	808	213	51	3.9	42	82.4	0	0.00	0	0.00	7	1	32	2
50～54	1769	13.7	288	1149	332	65	3.7	59	90.8	0	0.00	0	0.00	8	1	43	7
55～59	1722	13.4	282	1111	329	81	4.7	75	92.6	1	0.06	1	0.06	8	0	62	4
60～64	1614	12.5	295	1030	289	97	6.0	83	85.6	3	0.19	2	0.12	11	1	63	5
65～69	1693	13.1	433	898	362	100	5.9	92	92.0	3	0.18	3	0.18	15	3	71	0
70～74	1410	10.9	202	900	308	111	7.9	100	90.1	5	0.35	4	0.28	15	2	70	8
75～79	918	7.1	70	607	241	96	10.5	94	97.9	5	0.54	4	0.44	12	0	71	6
80～84	416	3.2	24	290	102	29	7.0	28	96.6	3	0.72	3	0.72	7	0	18	0
85～	115	0.9	4	77	34	11	9.6	11	100.0	0	0.00	0	0.00	2	1	7	1
計	12898	100.0	2653	7833	2412	713	5.5	643	90.2	20	0.16	17	0.13	86	9	487	41
【 女 】																	
～29	141	1.1	103	28	10	3	2.1	3	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	2	1
30～34	172	1.3	104	57	11	3	1.7	3	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	2	1
35～39	411	3.1	201	173	37	8	1.9	7	87.5	0	0.00	0	0.00	1	0	5	1
40～44	1056	8.0	494	397	165	25	2.4	24	96.0	0	0.00	0	0.00	3	0	20	1
45～49	1290	9.8	329	619	342	29	2.2	27	93.1	0	0.00	0	0.00	1	0	22	4
50～54	1845	14.0	379	960	506	54	2.9	46	85.2	1	0.05	1	0.05	7	0	37	1
55～59	1917	14.5	345	1036	536	55	2.9	50	90.9	0	0.00	0	0.00	8	0	40	2
60～64	1798	13.6	306	992	500	75	4.2	71	94.7	1	0.06	0	0.00	10	1	53	6
65～69	1771	13.4	377	894	500	93	5.3	82	88.2	3	0.17	2	0.11	15	0	62	2
70～74	1428	10.8	158	842	428	67	4.7	60	89.6	3	0.21	3	0.21	13	2	40	2
75～79	947	7.2	66	568	313	51	5.4	48	94.1	0	0.00	0	0.00	6	0	38	4
80～84	349	2.6	13	210	126	21	6.0	20	95.2	0	0.00	0	0.00	4	0	16	0
85～	67	0.5	1	43	23	7	10.4	7	100.0	1	1.49	1	1.49	1	0	5	0
計	13192	100.0	2876	6819	3497	491	3.7	448	91.2	9	0.07	7	0.05	69	3	342	25

1－(7) 胃がん精検機関別精検受診数（令和6年度）

			精 検 機 関		
			大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関	計
地 域	X線受診	0		0	0
	内視鏡受診	111		688	799
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 111 (13.9)		0 688 (86.1)	0 799 (100.0)
職 域	X線受診	0		0	0
	内視鏡受診	167		107	274
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 167 (60.9)		0 107 (39.1)	0 274 (100.0)
検診友の会等	X線受診	0		0	0
	内視鏡受診	15		3	18
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 15 (83.3)		0 3 (16.7)	0 18 (100.0)
合 計	X線受診	0		0	0
	内視鏡受診	293		798	1091
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 293 (26.9)		0 798 (73.1)	0 1091 (100.0)

1－(8) 市町村別胃がん検診精密検査機関（令和6年度）

市町村名	要精検数	精検受診数（率）	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	21	21（ 100.0 ）	1	17	1	0	2
能勢町	23	21（ 91.3 ）	0	12	0	1	8
吹田市	41	37（ 90.2 ）	0	9	14	4	10
摂津市（車）	2	2（ 100.0 ）	0	0	2	0	0
門真市	11	11（ 100.0 ）	2	1	4	0	4
四條畷市	6	6（ 100.0 ）	1	0	4	0	1
大東市	5	4（ 80.0 ）	0	0	2	0	2
八尾市（施設）	7	7（ 100.0 ）	2	1	0	4	0
柏原市	53	48（ 90.6 ）	7	18	1	13	9
柏原市（施設）	2	2（ 100.0 ）	0	2	0	0	0
松原市	68	61（ 89.7 ）	1	0	20	26	14
羽曳野市	111	98（ 88.3 ）	10	14	30	23	21
羽曳野市（施設）	1	1（ 100.0 ）	0	0	0	0	1
藤井寺市	34	33（ 97.1 ）	3	1	2	17	10
富田林市	47	42（ 89.4 ）	0	2	27	0	13
富田林市（施設）	2	2（ 100.0 ）	2	0	0	0	0
太子町	16	14（ 87.5 ）	1	0	10	0	3
千早赤阪村	9	9（ 100.0 ）	1	5	3	0	0
千早赤阪村（施設）	1	1（ 100.0 ）	1	0	0	0	0
河内長野市	27	26（ 96.3 ）	1	12	2	0	11
和泉市	25	16（ 64.0 ）	1	11	0	1	3
泉大津市	58	45（ 77.6 ）	2	7	5	26	5
高石市	42	39（ 92.9 ）	0	5	12	20	2
貝塚市	63	61（ 96.8 ）	1	41	8	0	11
熊取町	36	35（ 97.2 ）	0	16	12	0	7
泉南市	38	32（ 84.2 ）	2	5	16	5	4
岬町	11	10（ 90.9 ）	0	4	6	0	0
大阪府市	84	82（ 97.6 ）	60	6	6	7	3
大阪府国保（無料ドック）	13	12（ 92.3 ）	4	1	3	3	1
大阪府国保（特定ドック）	23	21（ 91.3 ）	8	1	5	4	3
合計	880	799（ 90.8 ）	111	191	195	154	148

註）公的病院に大学附属病院を含む

2－(1) 子宮頸がん検診結果集計表

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

	要精検率				精検受診率 (%)	精 検 結 果					が ん 症 例 の 治 療				39才以下 の割合				
	頸部受診数 体部受診数	要精検	(%)	精検受診		頸がん 体がん	(うち微小浸癌)	AIS・CIN3 異型増殖	CIN2・CIN1 複・単増殖	その他 異常なし	微小浸潤癌 手術	非手術	浸潤癌 治癒切除	非治癒切除 結果不明					
地域合計 (29市町村)	11395	165	1.4	153	92.7	5	4	20	(19)	56	(4)	66	6	4	0	1	0	0	18.3
	37	4	10.8	4	100.0	1	1	0		1		0	2	1	0	0	0	0	0.0
職域合計 (106団体)	5466	93	1.7	86	92.5	1	0	8	(6)	18	(2)	58	1	0	0	0	0	1	27.7
	29	1	3.4	1	100.0	0	0	0		1		0	0	0	0	0	0	0	0.0
検診友の会等 合計	619	6	1.0	6	100.0	0	0	0		2		4	0	0	0	0	0	0	7.8
	14	2	14.3	2	100.0	0	0	0		1		0	1	0	0	0	0	0	0.0
総合計	17480	264	1.5	245	92.8	6	4	28	(25)	76	(6)	128	7	4	0	1	0	1	20.9
	80	7	8.8	7	100.0	1	1	0		3		0	3	1	0	0	0	0	0.0

註：()内は、前がん病変で治療を受けたものを再掲。

2- (2) 子宮頸がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級 〔頸部〕	受診数	判 定										要 精 検 精 検 精 検 結 果				異常 なし									
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL (軽度)	LSIL (中度)	LSIL (高度)	LSIL (上皮)	SCC	AGC	AIS	Adeno carci	Other	判定 不能	要精検		要精検 率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	頸癌	うち微小浸 潤癌	CIN3	CIN2・CIN1	その他	
19～	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	
20～24	279	267	4	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4.3	12	100.0	0	0	1(1)	5	(1)	6	
25～29	710	690	11	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2.8	17	85.0	0	0	0	5	11	1	
30～34	1250	1209	13	5	15	3	3	0	0	0	0	0	0	0	41	3.3	38	92.7	1	0	3(1)	15	15	4	
35～39	1402	1366	19	2	6	1	4	1	0	3	0	0	0	0	36	2.6	35	97.2	1	1	4(4)	12	18	0	
40～44	1601	1569	11	0	8	6	4	0	0	3	0	0	0	0	32	2.0	26	81.3	0	0	4(4)	8	(1)	14	
45～49	1777	1740	14	2	12	1	2	2	1	1	2	0	0	0	37	2.1	36	97.3	2	1	4(4)	12	(2)	18	
50～54	2256	2225	12	2	11	0	3	2	0	0	0	1	0	0	31	1.4	29	93.5	0	0	4(4)	8	(1)	16	
55～59	2167	2149	9	5	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	18	0.8	18	100.0	0	0	2(2)	3	13	0	
60～64	1920	1900	9	1	3	1	1	1	2	0	0	2	0	0	20	1.0	19	95.0	2	2	3(3)	3	(1)	10	
65～69	1710	1702	3	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	8	0.5	8	100.0	0	0	2(2)	2	4	0	
70～74	1330	1327	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0.2	3	100.0	0	0	0	2	0	0	
75～79	766	761	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.7	4	80.0	0	0	0	1	3	0	
80～84	253	253	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	
85～	40	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	
計	17462	17198	110	23	69	17	19	6	5	10	2	3	0	0	264	1.5	245	92.8	6	4	28(25)	76	(6)	128	7

年齢階級	受診数	判 定			要精 検率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	精 検 結 果					
		陰性	疑陽性	陽性				判定 不能	体癌	異型 増殖	複雑型 増殖	単純型 増殖	その他
[体部]													
～ 19	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
20 ～ 24	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
25 ～ 29	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
30 ～ 34	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
35 ～ 39	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
40 ～ 44	5	4	1	0	0	1	20.0	1	0	0	0	0	0
45 ～ 49	9	6	3	0	0	3	33.3	3	0	1	0	0	2
50 ～ 54	28	27	0	1	0	1	3.6	1	0	0	0	1	0
55 ～ 59	15	14	0	1	0	1	6.7	1	0	0	0	0	0
60 ～ 64	13	13	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
65 ～ 69	7	6	1	0	0	1	14.3	1	0	0	0	0	1
70 ～ 74	1	1	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
75 ～ 79	1	1	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
80 ～ 84	1	1	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
85 ～	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
計	80	73	5	2	0	7	8.8	7	1	0	2	1	3

註) ()内は前がん病変で治療を受けたものを再掲示
本表には、HPV 併用検診の受診者数を含まない。

2- (3) 子宮がん精検機関別精検受診数 (令和6年度)

	精 検 機 関				
	大阪がん循環器病予防センター		他 の 医 療 機 関		総 計
地 域	頸部 54 (41.7) 体部 4 (100.0)	頸部 99 (58.3) 体部 0 (0.0)		153 (100.0) 4 (100.0)	
職 域	頸部 70 (59.4) 体部 1 (0.0)	頸部 16 (40.6) 体部 0 (100.0)		86 (100.0) 1 (100.0)	
検 診 友 の 会 等	頸部 6 (88.9) 体部 2 (100.0)	頸部 0 (11.1) 体部 0 (0.0)		6 (100.0) 2 (100.0)	
合 計	頸部 130 (50.0) 体部 7 (66.7)	頸部 115 (50.0) 体部 0 (33.3)		245 (100.0) 7 (100.0)	

2- (4) 市町村別子宮がん検診精密検査機関 (令和6年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	4 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
能勢町	6 (0)	6 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
摂津市 (車)	16 (0)	16 (0)	10 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
摂津市 (施設)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
島本町	3 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
門真市	4 (0)	4 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大東市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
八尾市	25 (0)	22 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (0)
八尾市 (施設)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
柏原市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
柏原市 (施設)	6 (0)	6 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
松原市	5 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
羽曳野市	10 (0)	10 (0)	0 (0)	9 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
羽曳野市 (施設)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
藤井寺市	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
大阪狭山市	6 (0)	6 (0)	0 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
富田林市	5 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)
富田林市 (施設)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
太子町	6 (0)	5 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)
千早赤阪村	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
河内長野市	6 (0)	6 (0)	0 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
泉大津市	4 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
貝塚市	5 (0)	5 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
熊取町	8 (0)	8 (0)	0 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
泉南市	7 (0)	7 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
堺市	3 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
大阪市	24 (2)	23 (2)	22 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
合計	163 (4)	151 (4)	53 (4)	58 (0)	11 (0)	3 (0)	26 (0)

註) 公的病院に大学附属病院を含む

註) () 内は体部

3- (1) 乳がん検診結果集計表

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

	受診数	要精検	要精検率 (%)	精検受診 (%)	精検受診率 (%)	精 検 結 果					が ん 症 例 の 治 療		39才以下 の 割 合		
						乳がん (うち早期がん)	線維腺腫	乳腺症 その他	異常なし	治癒切除	非治癒切除	結果不明			
地域合計 (30市町村)	16017	730	4.6	675	92.5	72	48	33	49	367	154	68	3	1	1.8
職域合計 (107団体)	5347	152	2.8	149	98.0	14	10	14	11	91	19	14	0	0	17.7
検診友の会等 合計	930	18	1.9	18	100.0	0	0	0	2	13	3	0	0	0	11.0
総合計	22294	900	4.0	842	93.6	86	58	47	62	471	176	82	3	1	6.1

3－(2) 乳がん検診結果集計表（年齢階級別）

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	割合		要精検率		精 検		精 検 結 果	
	受診数	(%)	要精検数	(%)	受診数	(%)	乳がん(%)	うち早期がん
～29	346	1.6	11	3.2	9	81.8	0	0
30～34	411	1.8	7	1.7	7	100.0	0	0
35～39	623	2.8	21	3.4	21	100.0	0	0
40～44	2330	10.5	161	6.9	145	90.1	10	0.43
45～49	2552	11.4	138	5.4	127	92.0	8	0.31
50～54	3576	16.0	176	4.9	163	92.6	13	0.36
55～59	3232	14.5	110	3.4	108	98.2	13	0.40
60～64	2822	12.7	90	3.2	85	94.4	7	0.25
65～69	2536	11.4	75	3.0	72	96.0	7	0.28
70～74	2028	9.1	60	3.0	57	95.0	16	0.79
75～79	1301	5.8	31	2.4	29	93.5	7	0.54
80～84	458	2.1	16	3.5	15	93.8	4	0.87
85～	79	0.4	4	5.1	4	100.0	1	1.27
合計	22294	100.0	900	4.0	842	93.6	86	0.39
							47	62
							471	176

3－ (3) 乳がん精検機関別精検受診数 (令和6年度)

	精 検 機 関			
	大阪がん循環器病予防センター	他 の 医 療 機 関	総 計	
地 域	285 (42.2)	390 (57.8)	675 (100.0)	
職 域	109 (73.2)	40 (26.8)	149 (100.0)	
検 診 友 の 会 等	16 (88.9)	2 (11.1)	18 (100.0)	
合 計	410 (48.7)	432 (51.3)	842 (100.0)	

3－(4) 市町村別乳がん検診精密検査機関（令和6年度）

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
池田市休日	52	50 (96.2)	3	46	1	0	0
豊能町	30	30 (100.0)	5	18	1	6	0
能勢町	15	14 (93.3)	1	11	0	0	2
摂津市(車)	54	54 (100.0)	26	8	18	1	1
摂津市(施設)	4	4 (100.0)	4	0	0	0	0
島本町	15	15 (100.0)	8	2	1	3	1
門真市	24	24 (100.0)	18	3	1	2	0
四條畷市	1	1 (100.0)	1	0	0	0	0
四條畷市(施設)	4	3 (75.0)	3	0	0	0	0
大東市	4	4 (100.0)	4	0	0	0	0
八尾市(施設)	6	6 (100.0)	6	0	0	0	0
柏原市	21	21 (100.0)	12	5	0	0	4
柏原市(施設)	4	4 (100.0)	4	0	0	0	0
松原市	15	13 (86.7)	6	0	4	3	0
羽曳野市	35	35 (100.0)	2	28	4	1	0
羽曳野市(施設)	2	2 (100.0)	2	0	0	0	0
藤井寺市	37	37 (100.0)	11	16	6	2	2
藤井寺市(施設)	2	2 (100.0)	2	0	0	0	0
大坂狭山市	40	35 (87.5)	3	20	12	0	0
富田林市	14	12 (85.7)	3	0	5	4	0
富田林市(施設)	3	3 (100.0)	3	0	0	0	0
太子町	13	13 (100.0)	4	2	3	3	1
千早赤阪村	1	1 (100.0)	0	1	0	0	0
千早赤阪村(施設)	1	1 (100.0)	1	0	0	0	0
河内長野市	54	51 (94.4)	13	32	4	2	0
泉大津市	43	26 (60.5)	4	8	2	12	0
高石市(施設)	1	1 (100.0)	1	0	0	0	0
熊取町	29	28 (96.6)	1	26	1	0	0
泉南市	19	19 (100.0)	3	15	1	0	0
岬町	11	11 (100.0)	0	3	8	0	0
堺市	37	22 (59.5)	6	3	13	0	0
東大坂市	7	7 (100.0)	6	0	1	0	0
大坂市	132	126 (95.5)	119	0	0	5	2
合計	730	675 (92.5)	285	247	86	44	13

註) 公的病院に大学附属病院を含む

4－（1）肺がん検診結果集計表

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

	受診数	X線 受診数	CT 受診数	喀痰提 出者数	要精検	要精検率 (%)	精検受診	精検受診率 (%)	がん症例の治療		
									肺がん	治癒切除	非治癒切除 非切除
地域 (23市町)	16282	16282	60	447	614	3.8	590	96.1	13	12	0
職域合計 (116団体)	13315	12521	861	328	256	1.9	234	91.4	2	2	0
検診友の会等 合計	1007	837	271	24	31	3.1	28	90.3	0	0	0
総合計	30604	29640	1192	799	901	2.9	852	94.6	15	14	0

註) 本表には、労働衛生安全法に基づく定期健康診断、人間ドック等による胸部X線検査の受診者（11897人）の結果を含む

4－(2) 肺がん検診 (CT) 結果集計表 (性・年齢階級別)

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	CT のみ	CT 略痰	受診歴 初 回	1年前	CT判定区分*					要精検率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	精 検 結 果		
							A	B	C	D	E				肺がん	異常なし	その他
【男】																	
～29	7	1.5	7	0	1	6	0	5	1	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0
30～34	11	2.4	8	3	6	4	0	5	5	0	1	9.1	1	100.0	0	0	1
35～39	14	3.1	11	3	6	7	0	8	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
40～44	34	7.5	26	8	14	18	0	12	19	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0
45～49	46	10.1	29	17	16	27	0	17	24	2	3	6.5	1	33.3	0	0	1
50～54	80	17.6	62	18	23	47	0	30	42	6	2	2.5	0	0.0	0	0	0
55～59	51	11.2	45	6	5	40	0	18	32	0	1	2.0	0	0.0	0	0	0
60～64	64	14.1	44	20	13	43	0	14	45	1	4	6.3	3	75.0	0	0	3
65～69	75	16.5	56	19	10	56	0	16	53	5	1	1.3	1	100.0	0	0	1
70～74	40	8.8	33	7	2	28	0	4	32	1	3	7.5	3	100.0	0	0	3
75～79	18	4.0	15	3	4	10	0	1	16	0	1	5.6	0	0.0	0	0	0
80～84	10	2.2	8	2	3	4	0	0	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0
85～	4	0.9	1	3	0	3	0	0	4	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
計	454	100.0	345	109	103	293	0	130	288	20	16	3.5	9	56.3	0	0	9
【女】																	
～29	1	0.4	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
30～34	8	3.2	5	3	6	1	0	6	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
35～39	14	5.6	8	6	11	3	0	7	7	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
40～44	24	9.6	18	6	11	9	0	8	14	1	1	4.2	1	100.0	0	0	1
45～49	33	13.1	23	10	13	16	0	10	22	0	1	3.0	1	100.0	0	0	1
50～54	30	12.0	25	5	10	12	0	5	20	2	3	10.0	1	33.3	0	0	1
55～59	36	14.3	34	2	9	23	0	5	30	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0
60～64	25	10.0	19	6	6	15	0	4	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0
65～69	40	15.9	30	10	9	25	0	5	32	2	1	2.5	1	100.0	0	0	1
70～74	17	6.8	15	2	4	12	0	2	14	0	1	5.9	1	100.0	0	0	1
75～79	16	6.4	13	3	5	6	0	1	12	1	2	12.5	1	50.0	0	0	2
80～84	5	2.0	5	0	0	4	0	1	3	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0
85～	2	0.8	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
計	251	100.0	195	56	85	128	0	55	177	10	9	3.6	6	66.7	0	0	7

注* CT判定区分 A:読影不能 B:異常所見を認めず C:異常所見を認めるも精検不要 D:異常所見を認めるも肺がん以外 E:肺がん疑い
本表には、胸部X線検査を合わせて受診したものを含まない

4－（3）肺がん検診（直接X線）結果集計表（性・年齢階級別）

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	X線 のみ	X線 喀痰	受診歴 初 回	1 年前	X線判定区分*					要精検率精		精 検 結 果				
							A	B	C	D	E	(%)	受診数		(%)	肺がん 異常なし	転移性肺腫瘍 その他	
【男】																		
～29	39	0.5	39	0	29	9	0	38	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
30～34	60	0.8	60	0	34	23	0	55	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
35～39	144	1.9	143	1	62	65	0	127	13	3	1	0.7	1	100.0	0	1	0	0
40～44	487	6.4	486	1	223	211	0	406	72	4	5	1.0	5	100.0	0	5	0	0
45～49	676	8.9	676	0	161	396	0	543	111	8	14	2.1	14	100.0	0	8	0	6
50～54	888	11.7	841	47	184	525	0	700	157	5	26	2.9	23	88.5	0	14	0	9
55～59	928	12.3	825	103	165	581	0	700	191	8	29	3.1	28	96.6	0	7	0	21
60～64	873	11.5	765	108	216	507	0	597	215	19	42	4.8	38	90.5	0	14	0	24
65～69	1080	14.3	984	96	340	560	0	671	324	30	55	5.1	52	94.5	1	17	0	34
70～74	1115	14.7	1001	114	202	727	0	631	382	30	72	6.5	68	94.4	3	26	0	39
75～79	751	9.9	690	61	103	486	0	382	297	27	45	6.0	44	97.8	2	5	0	37
80～84	407	5.4	372	35	45	278	0	182	186	19	20	4.9	18	90.0	0	5	0	13
85～	118	1.6	109	9	13	85	0	38	68	8	4	3.4	4	100.0	0	1	0	3
計	7566	100.0	6991	575	1777	4453	0	5070	2022	161	313	4.1	295	94.2	6	103	0	186
【女】																		
～29	113	1.1	113	0	78	31	0	107	4	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
30～34	79	0.8	79	0	49	24	0	77	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
35～39	133	1.3	133	0	60	57	0	125	7	0	1	0.8	1	100.0	0	0	0	1
40～44	722	6.9	722	0	389	246	0	662	50	6	4	0.6	4	100.0	0	2	0	2
45～49	974	9.3	974	0	261	453	0	846	106	6	16	1.6	16	100.0	1	9	0	6
50～54	1392	13.2	1382	10	337	672	0	1167	199	6	20	1.4	19	95.0	0	5	0	14
55～59	1331	12.6	1319	12	278	700	0	1004	269	18	40	3.0	40	100.0	0	17	0	23
60～64	1386	13.2	1370	16	310	756	0	921	392	30	43	3.1	40	93.0	1	11	0	28
65～69	1404	13.3	1389	15	305	793	0	905	419	27	53	3.8	52	98.1	0	11	0	41
70～74	1443	13.7	1435	8	235	880	0	859	498	37	49	3.4	48	98.0	0	11	0	37
75～79	1028	9.8	1020	8	129	642	0	556	398	36	38	3.7	38	100.0	1	11	0	26
80～84	424	4.0	421	3	42	266	0	208	182	14	20	4.7	20	100.0	2	4	1	13
85～	95	0.9	93	2	14	65	0	31	50	6	8	8.4	7	87.5	0	2	0	5
計	10524	100.0	10450	74	2487	5585	0	7468	2576	188	292	2.8	285	97.6	5	83	1	196

注* X線判定区分 A:読影不能 B:異常所見を認めず C:異常所見を認めるも精検不要 D:異常所見を認めるも肺がん以外 E:肺がん疑い
 本表には、胸部CT検査を合わせて受診したものを含まない

5ー (1) 大腸がん (便潜血) 検診結果集計表

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

	受診数	陽性数	要精検率 (%)	精検 受診 (%)	精検受診率 (%)	精検結果			がん症例の治療			39才以下 の割合				
						大腸がん (うち早期がん)	腺腫 の隆起	その他 憩室他 異常なし	早期手術	ポリペク トミー 治療切除	進行 不明					
地域合計 (25市町村)	21893	1013	4.6	891	88.0	42	28	453	84	141	171	5	23	12	2	0.2
職域合計 (89団体)	11442	419	3.7	319	76.1	13	10	123	52	47	84	4	6	3	0	15.1
検診友の会等合計	495	34	6.9	21	61.8	2	1	11	1	3	4	0	1	1	0	9.3
総合計	33830	1466	4.3	1231	84.0	57	39	587	137	191	259	9	30	16	2	5.4

5－(2) 大腸がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔地域〕

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果								
										大腸がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	腺腫	その他隆起	その他	異常なし	
【男】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	8	0.1	5	2	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	17	0.2	14	1	2	1	5.9	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
40～44	386	4.7	249	97	40	16	4.1	10	62.5	0	0.00	0	0.00	4	2	0	0	4
45～49	452	5.5	164	186	102	24	5.3	21	87.5	0	0.00	0	0.00	10	4	3	3	4
50～54	668	8.2	178	329	161	24	3.6	21	87.5	1	0.15	1	0.15	11	2	2	2	5
55～59	694	8.5	194	307	193	40	5.8	30	75.0	1	0.14	1	0.00	16	4	4	4	5
60～64	925	11.3	251	487	187	53	5.7	44	83.0	1	0.11	0	0.00	27	6	5	5	5
65～69	1571	19.2	438	815	318	85	5.4	72	84.7	5	0.32	4	0.25	49	7	10	1	1
70～74	1691	20.7	223	1144	324	106	6.3	92	86.8	6	0.35	4	0.24	62	5	11	8	8
75～79	1035	12.7	80	715	240	69	6.7	62	89.9	3	0.29	3	0.29	35	5	9	10	10
80～84	533	6.5	28	388	117	34	6.4	33	97.1	2	0.38	0	0.00	20	2	7	2	2
85～	186	2.3	12	136	38	15	8.1	12	80.0	0	0.00	0	0.00	7	0	4	1	1
計	8166	100.0	1836	4607	1723	467	5.7	397	85.0	19	0.23	12	0.15	241	37	55	45	45
【女】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	5	0.0	5	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	22	0.2	19	1	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
40～44	809	5.9	508	188	113	28	3.5	25	89.3	1	0.12	1	0.12	6	2	5	11	11
45～49	1063	7.7	345	368	350	37	3.5	30	81.1	1	0.09	1	0.09	9	1	7	12	12
50～54	1624	11.8	431	644	549	62	3.8	56	90.3	7	0.43	4	0.25	16	6	7	20	20
55～59	1702	12.4	427	736	539	68	4.0	63	92.6	2	0.12	2	0.06	29	8	6	18	18
60～64	1844	13.4	339	1023	482	57	3.1	49	86.0	2	0.11	2	0.11	18	6	12	11	11
65～69	2322	16.9	481	1246	595	104	4.5	94	90.4	3	0.13	3	0.13	42	10	17	22	22
70～74	2229	16.2	222	1417	590	81	3.6	78	96.3	1	0.04	2	0.04	46	5	13	13	13
75～79	1416	10.3	88	917	411	70	4.9	66	94.3	5	0.35	2	0.14	26	8	12	15	15
80～84	553	4.0	20	369	164	30	5.4	27	90.0	1	0.18	1	0.18	16	1	6	3	3
85～	138	1.0	6	91	41	9	6.5	6	66.7	0	0.00	0	0.00	4	0	1	1	1
計	13727	100.0	2891	7000	3836	546	4.0	494	90.5	23	0.17	16	0.12	212	47	86	126	126

5－(3) 大腸がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔職域〕

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検				果 腺腫	その他隆起	その他	異常なし
										大腸がん	率 (%)	うち早期がん	率 (%)				
【男】																	
～29	107	1.7	56	47	4	1	0.9	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	1	0	0
30～34	202	3.1	82	110	10	4	2.0	4	100.0	0	0.00	0	0.00	1	1	1	1
35～39	541	8.4	197	305	39	15	2.8	10	66.7	0	0.00	0	0.00	2	2	3	3
40～44	707	11.0	167	468	72	19	2.7	14	73.7	1	0.14	0	0.00	5	1	4	3
45～49	961	15.0	148	707	106	40	4.2	29	72.5	0	0.00	0	0.00	10	5	4	10
50～54	1208	18.8	129	915	164	45	3.7	38	84.4	4	0.33	4	0.33	21	4	4	5
55～59	1143	17.8	109	901	133	46	4.0	37	80.4	1	0.09	0	0.00	22	2	5	7
60～64	878	13.7	78	723	77	32	3.6	25	78.1	4	0.46	4	0.46	11	6	3	1
65～69	441	6.9	62	319	60	21	4.8	16	76.2	1	0.23	0	0.00	7	2	3	3
70～74	185	2.9	26	141	18	14	7.6	9	64.3	1	0.54	1	0.54	4	2	2	0
75～79	35	0.5	4	26	5	2	5.7	2	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	1	0
80～84	10	0.2	1	5	4	1	10.0	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	1	0	0
85～	5	0.1	0	5	0	2	40.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
計	6423	100.0	1059	4672	692	242	3.8	186	76.9	12	0.19	9	0.14	84	27	30	33
【女】																	
～29	217	4.3	118	84	15	10	4.6	9	90.0	0	0.00	0	0.00	0	1	1	7
30～34	212	4.2	94	99	19	5	2.4	3	60.0	0	0.00	0	0.00	2	1	0	0
35～39	453	9.0	164	249	40	20	4.4	11	55.0	0	0.00	0	0.00	2	0	1	8
40～44	572	11.4	157	341	74	16	2.8	14	87.5	0	0.00	0	0.00	3	1	3	7
45～49	769	15.3	149	523	97	30	3.9	21	70.0	0	0.00	0	0.00	2	9	4	6
50～54	938	18.7	148	678	112	35	3.7	27	77.1	1	0.11	1	0.11	7	7	4	8
55～59	924	18.4	111	709	104	29	3.1	21	72.4	0	0.00	0	0.00	10	2	2	7
60～64	579	11.5	73	448	58	16	2.8	14	87.5	0	0.00	0	0.00	6	3	1	4
65～69	259	5.2	45	192	22	11	4.2	8	72.7	0	0.00	0	0.00	4	1	1	2
70～74	77	1.5	9	58	10	2	2.6	2	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0	1
75～79	15	0.3	2	8	5	3	20.0	3	100.0	0	0.00	0	0.00	2	0	0	1
80～84	1	0.0	0	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
85～	3	0.1	0	1	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
計	5019	100.0	1070	3390	559	177	3.5	133	75.1	1	0.02	1	0.02	39	25	17	51

5－(4) 大腸がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔検診友の会等〕

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果						
										大腸がん	率 (%)	うち早期がん	率 (%)	その他 隆起	その他 異常なし	
【男】																
～29	9	3.5	4	5	0	1	11.1	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
30～34	7	2.7	5	2	0	2	28.6	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
35～39	6	2.3	0	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
40～44	14	5.4	7	7	0	1	7.1	1	100.0	1	7.14	0	0.00	0	0	0
45～49	11	4.3	1	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
50～54	27	10.5	2	22	3	1	3.7	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
55～59	11	4.3	2	8	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
60～64	19	7.4	2	13	4	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
65～69	20	7.8	2	12	6	2	10.0	2	100.0	0	0.00	0	0.00	0	1	1
70～74	13	5.1	1	8	4	2	15.4	1	50.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
75～79	74	28.8	6	50	18	10	13.5	6	60.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0
80～84	41	16.0	4	30	7	5	12.2	5	100.0	1	2.44	1	2.44	2	1	1
85～	5	1.9	1	4	0	2	40.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
計	257	100.0	37	176	44	26	10.1	15	57.7	2	0.78	1	0.39	8	1	2
【女】																
～29	2	0.8	1	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
30～34	10	4.2	10	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
35～39	12	5.0	6	4	2	1	8.3	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1
40～44	12	5.0	4	6	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
45～49	9	3.8	2	4	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
50～54	17	7.1	4	10	3	2	11.8	2	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0
55～59	15	6.3	5	9	1	1	6.7	1	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0
60～64	14	5.9	4	7	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
65～69	12	5.0	4	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
70～74	11	4.6	0	7	4	1	9.1	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1
75～79	98	41.2	10	68	20	3	3.1	1	33.3	0	0.00	0	0.00	1	0	0
80～84	21	8.8	0	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
85～	5	2.1	2	2	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
計	238	100.0	52	144	42	8	3.4	6	75.0	0	0.00	0	0.00	3	0	2

5- (5) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [総合計]

対象期間： 令和6年04月01日～令和7年03月31日

年齢階級 【男】	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果							
										大腸がん	率 (%)	うち早期がん	率 (%)	腺腫	その他隆起	その他	異常なし
～29	116	0.8	60	52	4	2	1.7	1	50.0	0	0.00	0	0.00	0	1	0	0
30～34	217	1.5	92	114	11	6	2.8	4	66.7	0	0.00	0	0.00	1	1	1	1
35～39	564	3.8	211	312	41	16	2.8	10	62.5	0	0.00	0	0.00	2	2	3	3
40～44	1107	7.5	423	572	112	36	3.3	25	69.4	2	0.18	0	0.00	9	3	4	7
45～49	1424	9.6	313	902	209	64	4.5	50	78.1	0	0.00	0	0.00	20	9	7	14
50～54	1903	12.8	309	1266	328	70	3.7	59	84.3	5	0.26	5	0.26	32	6	6	10
55～59	1848	12.4	305	1216	327	86	4.7	67	77.9	2	0.11	0	0.00	38	6	9	12
60～64	1822	12.3	331	1223	268	85	4.7	69	81.2	5	0.27	4	0.22	38	12	8	6
65～69	2032	13.7	502	1146	384	108	5.3	90	83.3	6	0.30	4	0.20	56	9	14	5
70～74	1889	12.7	250	1293	346	122	6.5	102	83.6	7	0.37	5	0.26	67	7	13	8
75～79	1144	7.7	90	791	263	81	7.1	70	86.4	3	0.26	3	0.26	41	6	10	10
80～84	584	3.9	33	423	128	40	6.8	39	97.5	3	0.51	1	0.17	22	3	8	3
85～	196	1.3	13	145	38	19	9.7	12	63.2	0	0.00	0	0.00	7	0	4	1
計	14846	100.0	2932	9455	2459	735	5.0	598	81.4	33	0.22	22	0.15	333	65	87	80
【女】																	
～29	219	1.2	119	85	15	10	4.6	9	90.0	0	0.00	0	0.00	0	1	1	7
30～34	227	1.2	109	99	19	5	2.2	3	60.0	0	0.00	0	0.00	2	1	0	0
35～39	487	2.6	189	254	44	21	4.3	12	57.1	0	0.00	0	0.00	2	0	1	9
40～44	1393	7.3	669	535	189	44	3.2	39	88.6	1	0.07	1	0.07	9	3	8	18
45～49	1841	9.7	496	895	450	67	3.6	51	76.1	1	0.05	1	0.05	11	10	11	18
50～54	2579	13.6	583	1332	664	99	3.8	85	85.9	8	0.31	5	0.19	24	13	12	28
55～59	2641	13.9	543	1454	644	98	3.7	85	86.7	2	0.08	2	0.04	40	10	8	25
60～64	2437	12.8	416	1478	543	73	3.0	63	86.3	2	0.08	2	0.08	24	9	13	15
65～69	2593	13.7	530	1446	617	115	4.4	102	88.7	3	0.12	3	0.12	46	11	18	24
70～74	2317	12.2	231	1482	604	84	3.6	81	96.4	1	0.04	1	0.04	47	5	13	15
75～79	1529	8.1	100	993	436	76	5.0	70	92.1	5	0.33	2	0.13	29	8	12	16
80～84	575	3.0	20	387	168	30	5.2	27	90.0	1	0.17	1	0.17	16	1	6	3
85～	146	0.8	8	94	44	9	6.2	6	66.7	0	0.00	0	0.00	4	0	1	1
計	18984	100.0	4013	10534	4437	731	3.9	633	86.6	24	0.13	17	0.09	254	72	104	179

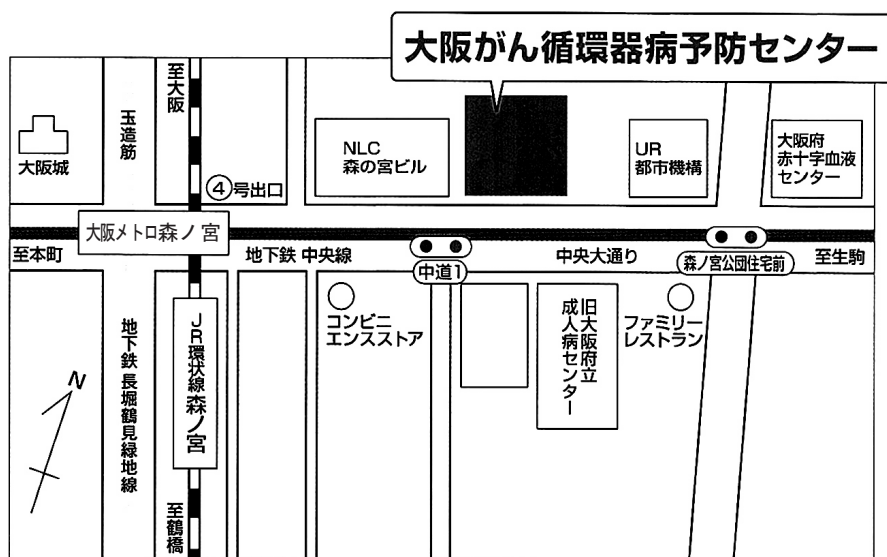
5- (6) 大腸がん精検機関別精検受診数 (令和6年度)

		精 検 機 関		
		大阪がん循環器病予防センター	他 の 医 療 機 関	総 計
地 域	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	0	860	860
	X線内視鏡受診	0	31	31
	精検受診数(総)計	0 (0.0)	891 (100.0)	891 (100.0)
職 域	X線受診	0	1	1
	内視鏡受診	0	316	316
	X線内視鏡受診	0	2	2
	精検受診数(総)計	0 (0.0)	319 (100.0)	319 (100.0)
検 診 友 の 会 等	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	0	21	21
	X線内視鏡受診	0	0	0
	精検受診数(総)計	0 (0.0)	21 (100.0)	21 (100.0)
合 計	X線受診	0	1	1
	内視鏡受診	0	1197	1197
	X線内視鏡受診	0	33	33
	精検受診数(総)計	0 (0.0)	1231 (100.0)	1231 (100.0)

5- (7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関 (令和6年度)

市町村名	要精検数	精検受診数(率)	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	25	25 (100.0)	0	19	0	1	5
能勢町	31	29 (93.5)	0	21	0	0	8
吹田市	29	25 (86.2)	0	6	4	6	9
吹田市(施設)	8	6 (75.0)	0	0	2	3	1
摂津市(車)	2	2 (100.0)	0	1	0	0	1
摂津市(施設)	4	3 (75.0)	0	1	0	1	1
門真市	11	9 (81.8)	0	1	4	0	4
四條畷市	12	9 (75.0)	0	0	4	1	4
四條畷市(施設)	2	1 (50.0)	0	0	0	1	0
大東市	8	6 (75.0)	0	1	2	3	0
八尾市(施設)	11	9 (81.8)	0	4	1	2	2
柏原市	35	34 (97.1)	0	10	2	21	1
柏原市(施設)	5	5 (100.0)	0	4	0	1	0
松原市	61	55 (90.2)	0	1	26	24	4
羽曳野市	105	92 (87.6)	0	16	25	48	3
藤井寺市	89	78 (87.6)	0	2	14	51	11
藤井寺市(施設)	6	5 (83.3)	0	2	0	2	1
太子町	20	18 (90.0)	0	3	7	8	0
千早赤阪村	14	12 (85.7)	0	4	8	0	0
河内長野市	31	28 (90.3)	0	14	4	2	8
泉大津市	93	79 (84.9)	0	20	13	40	6
高石市	45	40 (88.9)	0	7	13	16	4
貝塚市	56	48 (85.7)	0	37	6	2	3
熊取町	67	63 (94.0)	0	44	13	0	6
泉南市	56	50 (89.3)	0	12	28	10	0
岬町	18	17 (94.4)	0	6	10	1	0
大阪府	70	62 (88.6)	0	10	10	29	13
八尾市国保ドック	1	1 (100.0)	0	0	0	1	0
大阪府国保(ドック)	1	0 (0.0)	0	0	0	0	0
大阪府国保(無料ドック)	36	26 (72.2)	0	3	4	15	4
大阪府国保(特定ドック)	61	54 (88.5)	0	10	12	26	6
合計	1013	891 (88.0)	0	259	212	315	105

(註) 公的病院に大学附属病院を含む



<交通>

- JR環状線「森ノ宮」下車 北出口
- 大阪メトロ 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車 ④号出口 東へ徒歩2分

事業年報（令和6年度）

発行日 令和8年3月
 編集・発行 大阪がん循環器病予防センター
 〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号
 TEL 06(6964)0666(代)
 FAX 06(6964)0665
 URL <http://www.osaka-ganjun.jp>

印刷所 石川特殊特急製本株式会社

ISSN 2188-0093